豊川市環境基本計画

環境行動都市とよかわ

~次世代に誇れるまちをつくろう~

実 施 計 画

(平成27年度~平成31年度)

平成29年度 実績報告



豊川市 環境部 環境課

環境目標① エネルギーを大切にしよう <取組 1 省エネルギーの推進>

○豊川市地球温暖化対策実行計画区域施策編の推進 【豊川市地球温暖化対策実行計画区域施策編の推進】※重点施策1-1

環境部環境課

【	長子付計画区域施束編の推進】※里点施東1-1								
予算科目	一般会計			全体実施期間 平成27年度~			_		
事業の概要	計画に基づき	市域からの泡	温室効果ガス	排出削減を推	進する。				
目標指標	過去値 (H17値)	現状値 (H24値)	27年度 (H25値)	28年度 (H26値)	29年度 (H27値)	30年度 (H28値)	31年度		
市域からの温室効果ガス 排出量(全体)	2, 016, 890 (t-C0 ₂)	1, 516, 861 (t-C0 ₂)					1, 448, 551 (t-CO ₂)		
<実 績>	_	_	1, 521, 941 (t-C0 ₂)	1, 619, 717 (t-C0 ₂)	1, 546, 776 (t-C0 ₂)				
市域からの温室効果ガス 排出量(家庭部門)	241, 768 (t-C0 ₂)	239, 203 (t-C0 ₂)				-	217, 698 (t-CO ₂)		
<実 績>	_	_	236, 518 (t-C0 ₂)	214, 418 (t-C0 ₂)	206, 993 (t-C0 ₂)				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
計画推進	_	推進				-	_		
<実 績>	_	推進	推進	推進			_		
広報掲載	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
27年度成果・課題	動の活発化か や家電製品の	ジ要因と思われ 対型化・複数	れる。一方、 数化など増加	家庭からの排 要因もあるが	量が増加とな 出は順調に削 、今後も、総 どを周知・推	減となった。 ₺続して地球⅓	景気の動向 温暖化対策実		
28年度成果・課題	なった。その し、同じ方法 CO2、家庭部 化など増加要	平成28年度(H26値)の調査では、都道府県別エネルギー消費統計の推計方法が変更となった。そのため、市域からの温室効果ガス排出量(全体)が増加した形となった。しかし、同じ方法で平成27年度(H25値)を推計した結果と比較すると、全体は-129,772t-C02、家庭部門-12,565t-C02の削減となっている。景気の動向や家電製品の大型化・複数化など増加要因もあるが、今後も、継続して地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に搭載されている取り組みなどを周知・推進していく必要がある。							
29年度成果・課題	CO2削減され 減されたこと 昨年度に比へ	た。主な要因 :による。ま7 :排出量は削減	として、産業 た、家庭部門 載されている	美部門製造業2の排出量につ が、目標指標	の温室効果力 が816,890t-Co いては順調に まで削減する いる取り組みな	02から757,61 L削減されてい ためには、A	5t-CO2へ削 いる。 迷続して地球		

〇豊川市役所地球温暖化対策実行計画の推進

【豊川市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】

環境部環境課

豆川中区/月起水温吸		11E/C 1 //C1		人从虫	+/ 11-11		K-DU DIPOK-DUDK	
予算科目	一般会計			全体実施期間 平成22年度~				
事業の概要	市における温	fl室効果ガス!	非出削減、エ	コアクション	の取組、研修	※、進行管理		
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H25)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
市における 温室効果ガス排出量	26, 876 (t-CO ₂)	34, 431 (t-CO ₂)	33, 743 (t-C0 ₂)	33, 399 (t-CO ₂)	33, 055 (t-C0 ₂)	32, 711 (t-CO ₂)	32, 365 (t-CO ₂)	
<実 績>	_		33, 225	34, 397	33, 498			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
エコアクション評価	口	2	2	2	2	2	_	
<実 績>	口	2	2	2			_	
職員研修	口	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	口	1	1	1			_	
27年度成果・課題				。また、推進 組むことが課		こした職員研修 ごある。	答(参加者51	
28年度成果・課題		行動計画に基づき、進行管理を行ったが、市における温室効果ガス排出量が目標を達成できなかった。また、推進員等を対象にした職員研修(参加者55人)を実施した。						
29年度成果・課題	たが、目標の	達成はできた	なかった。	結果、昨年度 者55人)を実		2の温室効果力	ガスを削減し	

【グリーン購入推進事業】

総務部契約検査課

【ググーク購入性度争う	卡 】			心伤叩天小灯鬼					
予算科目	一般会計			全体実	施期間	_			
事業の概要	環境に配慮し	た製品を優先	たして購入						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
グリーン購入割合	79%	91%	92%	93%	94%	96%	98%		
<実 績>	_		91%	85%	84%				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
グリーン購入件数	件	15, 800	16, 000	16, 200	16,600	17,000	_		
<実 績>	件	15, 014	13, 840	13, 812					
修正事項	・グリーン購	構入件数(目標 00件を減する	(2重にカウ 票値)につい 。(H27グリ	ても、ベース	の件数が誤っ	ていたため、	2重カウン		
27年度成果・課題	各課より依頼 入割合が減少		溝入において	グリーン購入	不適合品が増	加したため、	グリーン購		
28年度成果・課題	うに依頼した	「豊川市グリーン購入推進指針」に基づいて、環境に配慮した物品を優先的に購入するように依頼したが、各課より依頼のある集中購入においてグリーン購入不適合品が増加した とめ、グリーン購入割合・件数が減少した。							
29年度成果・課題	各課より依頼 入割合・件数 配慮した物品	女が減少した。		「豊川市グリ	ーン購入推進				

【学校施設における照明のLED化事業】

教育委員会庶務課

1 DOWN	11.0 D D D ID.	ひととひにず来!								
予算科目	一般会計			全体実施期間 — 一						
事業の概要	新築・改修コ	[事等の際に則	照明のLED [/]	化を実施する	0					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
新築・改修工事等	棟	36	1	1	3	2	_			
<実績>	棟	35	1	1						
27年度成果・課題	屋内運動場3	屋内運動場33棟、東部小学校校舎1棟、八南小学校校舎1棟で照明のLED化を実施した。								
28年度成果・課題	萩小学校校舎	荻小学校校舎の普通教室で照明のLED化を実施した。								
29年度成果·課題	一宮東部小学	学校南校舎の別	展明のLED化を	: 実施した。						

環境部環境課

「稼のカーテンの普及	【稼びガーナンの音及・啓発事業】※里点肔束1-4								
予算科目	一般会計 4·	-1-10-060		全体実	施期間	平成22年度~			
事業の概要			公共施設等に ストを実施す	緑のカーテン る。	を設置する。	また、市民な	や事業者の参		
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
設置個所数	_	60箇所	65箇所	65箇所	65箇所	65箇所	65箇所		
<実 績>	_		65箇所	64箇所	62箇所				
コンテスト応募数 住宅部門		12点	50点	50点	50点	50点	50点		
<実 績>	_		20点	19点	12点				
コンテスト応募数 団体部門	_	48点	50点	50点	50点	50点	50点		
<実 績>	_		26点	23点	17点				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
設置資材配布	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
コンテスト実施	式	1	1	1	1	1	—		
<実 績>	式	1	1	1			—		
27年度成果・課題	市民や企業等	学に啓発を図~		緑のカーテン ストへの応募 。					
28年度成果・課題	市民や企業等	24保育園、22小中学校、18公共施設に緑のカーテンを設置。また、コンテストを実施し、 市民や企業等に啓発を図った。コンテストへの応募件数が、減少傾向にある。事業の啓発 や運営についての見直しが必要である。							
29年度成果・課題	市民や企業等	等に啓発を図~		緑のカーテン ストへの応募 を実施した。					

○省エネルギーの推進・啓発 【エコチャレンジ・カレンダー事業】※重点施策1-4

環境部環境課

【エコケヤレング・ガレング一事未】公里点爬泉1-4									
予算科目	一般会計 4	-1-10-060		全体実施期間 平成22年度~					
事業の概要	小学5年生を	対象としたこ	エコチャレン	ジ・カレンダ	ーを作成・酢	2布、活用する	ó.		
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
実践者数	_	2,032人	2,000人	1,900人	2,000人	2,000人	2,000人		
<実 績>	_	_	1,758人	1,653人	1,797人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
作成部数	部	2, 100	2,000	2, 200	2, 200	2, 200	_		
<実 績>	部	2, 300	2, 300	2,000			_		
WEB版作成	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
出前講座	口	10	10	10	10	10	_		
<実 績>	П	10	10	11			_		
27年度成果・課題	成・配布した		出前講座(児:	童クラブ10回)を実施し、	ジ・カレンダ 普及啓発を図			
28年度成果・課題		教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコチャレンジ・カレンダー」を作成・配布した。この他、出前講座(児童クラブ9回+一般1回)を実施し、普及啓発を図った。							
29年度成果・課題	成・配布した		-の各月には	、エコに関す		ジ・カレンダ ゚゙ズを設定して			

環境部環境課

【グールノー 一首 人で 一								
予算科目	一般会計 4	-1-10-060		全体実	全体実施期間 平成21年度~			
事業の概要	夏至の日及て 実施する。	ド7月7日に公会	は施設や企業	、市民へのラ	イトダウンの)呼びかけ及び	び啓発講座を	
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
協力企業数	_	24社	25社	30社	30社	30社	30社	
<実 績>	_		27社	27社	27社			
講座参加者数	_	14人	20人	20人	20人	20人	20人	
<実 績>	_		26人	18人	16人			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
企業へ協力依頼	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1			_	
啓発講座の実施	П	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	П	1	1	1			_	
広報等記事掲載	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1			_	
27年度成果・課題			食油でエコキ できているが					
28年度成果・課題	ている参加者	普及啓発事業として、廃食油でエコキャンドルを作る講座(18人)を開催した。目標としている参加者数は当日欠席がありクリアできなかった(参加申込者数20人)。講座の内容など、見直しが必要な時期が近づいている。						
29年度成果・課題	用施設を除く また、関連講) の一斉消炉 構座「廃食油 [*]		ドルを作ろう	」(16人)を		を設(市民利 構座への参加	

【うちエコ診断事業】※重点施策1-1

環境部環境課

	N 里 小 心 水 I 」	里尔旭来II								
予算科目	一般会計 4·	-1-10-100		全体実施期間 平成28年度~			-			
事業の概要	家庭における	省エネルギー	ーアドバイス	事業を実施す	る。					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
うちエコ診断	件		資格取得	10	10	10	_			
<実 績>	件		0	0						
27年度成果・課題		平成28年度の資格取得に向けての情報収集を行った。今後は、資格取得後の事業化について、検討・準備が必要である。								
28年度成果・課題	平成28年度 る。	平成28年度の資格試験は不合格であった。来年度の資格取得に向け準備等が必要である。								
29年度成果・課題	平成29年度 た。平成30 検討を行った)年度以降の	資格試験を受 事業実施方法	けたが不合格 について、委	だったため、 託などによる	事業の実施ができた	ができなかっ ないか調査・			

【ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS)導入費補助】※重点施策1-2

環境部環境課

【かームエネルキーマン	<u> ドンメントン</u>	A / A (NEMS	1等八貫柵助				农奶奶烧奶味			
予算科目	一般会計 4·	-1-10-100		全体実	施期間	平成28年度~	平成28年度~			
事業の概要	ホームエネル	/ギーマネジ)	メントシステ	ム(HEMS)導	入に対し、補	前助を実施する	5.			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
導入補助	基		35	35	35	35	_			
<実 績>	基		33	43						
27年度成果・課題		補助の実施に向け、補助対象など検討した。そして、平成28年度の補助事業開始に向けて、補助要綱(案)を準備した。								
28年度成果・課題		平成28年度より補助事業を実施した。 平成28年度ホームエネルギーマネジメントシステム設置補助実績:33基								
29年度成果・課題	充して事業を	と実施した。	ネルギーマネ ギーマネジメ			h件数を35基だ 責:43基	いら50基へ拡			

【地産地消推進・こだわり農産物推進事業】再掲P.26

<取組2 再生可能エネルギー、新エネルギーの導入推進> ○公有地・公共施設におけるエネルギーの有効活用

【公共施設における太陽光発電システムの導入】

各課

予算科目	一般会計	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		全体実施期間 平成11年度~			Ų.	
事業の概要	公共施設の新	公共施設の新築・増改築時に太陽光発電システムを設置する。						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
設置施設数	2箇所	14箇所	15箇所	15箇所	15箇所	15箇所	15箇所	
<実績>	_		15箇所	15箇所	15箇所			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
音羽庁舎等	基	1		—	_	_	_	
<実績>	基	1		_			_	
27年度成果・課題				10kW) と蓄電 どの検討が今		を設置した。 よる。	維持管理と	
28年度成果・課題	新規設置の実	新規設置の実績なし。						
29年度成果・課題	新規設置の実 太陽光発電シ い。		 電池の導入に	は多額の費用	が必要となり)、毎年度の領	実施が難し	

【ふれあい交流館廃熱回収システム設備設置事業】

産業部商工観光課

【34007 文师相选然四次之外,4次师以直手来】										
予算科目	一般会計 7	-1-6-020		全体実	全体実施期間		~			
事業の概要		ドイラー排気ガス熱の再利用による湯沸し。								
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
燃料消費削減割合 (運用前比)	_			10%	10%	10%	10%			
<実 績>	_	_		2. 1%	1.8%					
二酸化炭素排出量 削減(運用前比)	_			54t-C02	54t-C02	54t-C02	54t-C02			
<実 績>	_			10.5t-C02	9t-C02					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
設置工事	式	1	運用			-	_			
<実 績>	対応状況	設置工事完了	運用	運用						
27年度成果・課題	廃熱回収シス	ステムの設置	Ľ事が完了し	たため、今後	の運用実績が	データ収集が東	公要となる。			
28年度成果・課題	外気温や入浴者数の変動が燃料の消費量にも影響を及ぼすと考えられるため、適切な燃料 削減方法を模索していきたい。									
29年度成果・課題	外気温や入浴 と情報共有等	ら者数の変動が 等連携に努め、	が燃料の消費 適切な燃料	量にも影響を 削減方法を模	及ぼすと考え 索していきた	えられるため、 こい。	指定管理者			

【蒸気式発電機導入事業】

予算科目	一般会計 4	-2-3-010		全体実施期間 平成15年度~			J	
事業の概要	清掃工場ごみ	清掃工場ごみ焼却施設による発電						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
発電電力量	9,132 MkWh/年	11,510 MkWh/年	11,510 MkWh/年	11,510 MkWh/年	11,510 MkWh/年	11,510 MkWh/年	11,510 MkWh/年	
<実 績>	_		11,041 MkWh/年	10,531 MkWh/年	10,423 MkWh/年			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
蒸気式発電機の稼働	式	1	1	1	1	1		
<実 績>	式	1	1	1				
27年度成果・課題	し尿汚泥の燎	ב却を新たに 第	実施したため	、発電に必要	な蒸気量が洞	域少傾向にある	ó .	
28年度成果・課題	し尿汚泥の燎	し尿汚泥の焼却実施に伴い、発電に必要な蒸気量が減少傾向にある。						
29年度成果・課題	平成30年2月 かった。	に工事工程の	関係で6号炉	を停止してい	たため、例年	Eより、発電量	むか伸びな	

〇再生可能エネルギーや新エネルギーシステムの普及促進

【バイオマスエネルギーの調査・研究】

環境部環境課

F. 1 34 4 5 45 1 1 34 4	*/ H/H <u>— -</u> -// /	/ L _				~	ハンロロドンハンロルト		
予算科目	一般会計			全体実施期間		平成27年度~			
事業の概要	バイオマスコ	ニネルギーのマ	有効利用につ	いて調査・研	究する。				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
調査・研究	式	1	1	1	1	1	_		
<実績>	対応状況	情報収集	情報収集	視察			_		
27年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行 う必要がある。							
28年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行う必要がある。							
29年度成果·課題	豊橋市バイオ	トマス利活用	センター及び	中島処理場の	視察を行った	-0			

【住宅用太陽光発電システム設置費補助】※重点施策1-2

環境部環境課

予算科目	一般会計 4		WEYKI I	全体実施期間		平成12年度~平成16年度 平成21年度~			
事業の概要	住宅用太陽光	主宅用太陽光発電システム設置に対し、補助を実施する。							
目標指標	過去値 (H20)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
設置基数の累計	648基	4,501基					5,000基		
<実 績>	_	_	5,223基	5,975基	6,500基				
定格出力kW	_	44,600kW				-	拡大		
<実 績>	_	_	59,600kW	65, 400kW	73, 500kW				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
設置補助	基	200	150	150	150	100	_		
<実 績>	基	205	154	153			_		
修正事項)累計】: 5,	いて、市補助。 377基 → 347kW → (5,975基	もれがあった	こため修正した	0		
27年度成果・課題						P問い合わせは 対象など制度の			
28年度成果・課題		現時点では、目標基数に達している。平成28年度より太陽光以外の住宅用地球温暖化対 衰設備設置費補助を開始。それに伴い、太陽光の補助率、補助対象件数など制度の見直し							
29年度成果・課題	対策設備導入	促進費補助る		るが、太陽光		「愛知県住宅用 ム設置に対する			

【風力発電システムの情報収集・研究】※重点施策1-2

環境部環境課

	11 1 N D D D								
予算科目	一般会計			全体実施期間		平成22年度~			
事業の概要	風力発電シス	マテムについて	て情報収集と	研究を行う。					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
調査・研究	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	対応状況	情報収集	情報収集	情報収集			_		
27年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行 う必要がある。							
28年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行 う必要がある。							
29年度成果・課題	風力発電施設 ギー調査・研			、環境モデル	都市奈良県生	に駒市へ再生 す	可能エネル		

【家庭用蓄電池及び燃料電池設置費補助】※重点施策1-2

環境部環境課

TATOCA HA INCIDATE AND		七日散色質							
予算科目	一般会計 4-	-1-10-100		全体実施期間 平成28年度~					
事業の概要	家庭用蓄電池	家庭用蓄電池及び燃料電池の設置に対し、補助を実施する。							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
蓄電池設置補助	基	検討	20	20	20	20	_		
<実 績>	基	検討	20	40			_		
燃料電池設置補助	基	検討	20	20	20	20	_		
<実 績>	基								
27年度成果・課題		補助の実施に向け、補助対象など検討した。そして、平成28年度の補助事業開始に向けて、補助要綱(案)を準備した。							
28年度成果・課題		り補助事業を 情電池設置補助 は料電池設置補	助実績:20基	基					
29年度成果・課題	た。 平成29年度蓄	香電池設置補 明			20基から40基	ない拡充して事	事業を実施し		

【小水力発電システムの情報収集・研究】※重点施策1-2

環境部環境課

【小水力発電システムの	の情報収集・位	讲究】※重点	施策1-2	東東京 東京 					
予算科目	一般会計			全体実施期間 平成27年度			~		
事業の概要	小水力発電シ	/ステムにつV	ハて情報収集	と研究を行う	0				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
調査・研究	式	1	1	1	1	1			
<実 績>	対応状況	対応状況 情報収集 情報収集 視察 -							
27年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行 う必要がある。							
28年度成果・課題		通常業務の中で、情報収集を行った。今後は、有効利用や事業手法などの調査・研究を行 う必要がある。							
29年度成果・課題	奈良県生駒市	万山崎浄水場/	小水力発電施	 設の視察を行	った。				

環境目標② 車の使い方を考えよう

<取組3 自動車使用頻度削減などの推進>

〇交通システムの整備

【都市計画道路改良事業】

建設部道路建設課

予算科目		-5-3		全体実	施期間	平成11年度~	
事業の概要	道路改良・加	広幅等の道路	整備を行い、	渋滞緩和を図	る。		
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
上宿樽井線 (市田工区)整備	式	1	1				581 m
<実績>	m	用地買収・補償	工事 190m				581 m
上宿樽井線 (市田野口工区)整備	式			1	1	1	270 m
<実績>	m		用地測量、道路設計	土地評価			
御津為当線整備	式			1	1	1	157 m
<実績>	m						
松本入浜線整備	式	1	1	1			389 m
<実績>	m	工事 116m	工事 50m				389 m
27年度成果・課題		市田工区)に〜 罫(116m)を実加		地買収及び物	件補償を実施	返。松本入浜総	泉について
28年度成果・課題		市田工区)(19 地測量及び道			の拡幅工事を	実施。上宿樽	井線(市田野
29年度成果・課題	(市田野口工	区)についてに	は、用地取得	に向け土地評	価を実施した	写業完了した。 こ。JR愛知御淳)所管となる。	上宿樽井線 津駅駅前広場

〇公共交通機関利用の促進

【公共駐車場維持管理事業】

産業部商工観光課

	上五八四十一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一								
予算科目	公共駐車場特	公共駐車場特別会計 1-1-1-101 全体実施期間 —							
事業の概要	パーク&ライ	'ドのための4	公共駐車場の	整備					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
維持管理	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	千円	36, 122	26, 444	40, 812					
27年度成果・課題	施設の老朽化	施設の老朽化に伴う修繕箇所の増加が課題である。							
28年度成果·課題	施設の老朽化	E設の老朽化に伴う修繕箇所の把握と修繕を定期的に実施していく必要がある。							
29年度成果·課題		注車場の指定管 いく必要がある		して修繕箇所	等の把握に努	め、定期的な	改修、修繕		

【駐輪場維持管理事業】

市民部人権交通防犯課

予算科目	一般会計 2	-1-12-060		全体実施期間一				
事業の概要	サイクル&っ	7イドのため(の駐輪場の整備	烳				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
維持管理	式	1	1	1	1	1		
<実績>	千円	11, 395	11, 576	11, 532			_	
修正事項	平成27年度:	って、算出方法 9,413 → 9,362 →		行った。				
27年度成果・課題	を実施した。	主輪場についての案内看板の設置修繕、駐輪場内の整理業務委託及び放置自転車の撤去等 と実施した。また、駐輪場として6箇所の土地を借り上げて運営した。一部駐輪場で飽和 大態となってるため、対応を検討する必要がある。						
28年度成果・課題	の撤去を実施	した。また、	及び修繕を実 駐輪場とし ため、対応を	て6箇所の土	地を借り上け			
29年度成果・課題	設計及び調査	E測量委託料(抱和状態を解 の予算を要求 注輪場の維持	した。また、	利用状況を把			

【公共交通機関等利用促進事業】※重点施策1-3

	[世事未】 入里心地来15								
予算科目	一般会計 2-1-13-190 全体実施期間 —								
事業の概要	路線バス・コ	1ミュニティ/	バスの利用者:	増を図るため	の環境整備及	び利用促進事	事業の実施		
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
コミュニティバス利用 者数	47,969人	82,959人	84,000人	85,000人	87,500人	90,000人	92,500人		
<実 績>	_		86,052人	83,748人	93, 460人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
上屋・ベンチ設置	箇所	1	2	2	2	2	_		
<実績>	箇所	1	1	1			_		
利用促進事業	式	2	2	2	3	3	_		
<実績>	千円	207	203	189			_		
27年度成果・課題	ンチを設置す の事業を実施	バスの利便性向上、利用促進を図るべく、コミュニティバス一宮線の本宮の湯バス停へベンチを設置するとともに、夏休み路線バス探検キャラバンや夏休み小学生50円バスなどの事業を実施した。今後も計画的・継続的に事業が実施できるように、運行事業者等と調整を行いつつ、地域公共交通会議において検討をする必要がある。							
28年度成果・課題	制の導入、1 ス停へ寄贈さ し、運賃体系	バスの利便性向上、利用促進を図るべく、平成28年10月に路線の見直しや共通ゾーン制の導入、1日フリー乗車券の通年販売などの運賃体系の変更を行った。また、一部のバス停へ寄贈されたベンチを設置した。今後は、地域公共交通会議において、路線の見直し、運賃体系変更の効果など検証を進めるとともに、運行事業者等とも連携を図りながら計画的・継続的に事業を実施する必要がある。							
29年度成果・課題	年販売等の努 等の継続的な ら、豊川市地	か果により、る な取組により、 と域公共交通網	また、夏休み 利用者数は	路線バス探検 目標値を上回 掲げる収支率	キャラバン、 り、過去最高	び1日フリー 夏休み小学生 らとなった。 し は達していない	E50円バス しかしなが		

〇**自転車利用の促進** 【市道拡幅改良事業】

建設部道路建設課

【印色松幅以及事業】								
予算科目	一般会計 8	-2-2, 8-5-3		全体実	施期間	平成18年度~	J	
事業の概要	市道の拡幅改	女良工事・歩泣	首設置工事を	行い、車道と歩道を分離する。				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
穂ノ原六角線(2)	式	1	1	1	1	1	210 m	
<実 績>	m	用地買収・補償	用地買収・補償	用地買収·補償				
足山田大木線	式	1	1	1	1	1	630 m	
<実 績>	m	用地買収	用地買収・補償	工事 106m				
西方御津紡線	式	1	1	1	1		220 m	
<実績>	m							
桜町千両線	式	1	1	1	1	1	1, 200 m	
<実 績>	m		路線・用地測量	土地評価				
27年度成果・課題	穂ノ原六角線 用地買収をま		は、用地買収	双及び物件補低	賞を実施。足	山田大木線に	ついては、	
28年度成果・課題		聴ノ原六角線(2)、足山田大木線の用地買収及び物件補償を実施。桜町千両線の路線測量 及び用地測量を実施した。						
29年度成果・課題		泉(2)の用地買 ヽては、用地耳				工事(106m)を	実施。桜町	

【市内道路改良事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計 8	-2-2-500		全体実施期間 平成18年度~			,		
事業の概要	バリアフリー	バリアフリーを意識した道路改良工事							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
道路拡幅・改良工事	m	800	1, 500	1, 500	1,500	1,500	_		
<実 績>	m	1, 339	1, 001	1, 062					
道路改良工事	m	3, 700	5,000	5,000	5,000	5,000			
<実 績>	m	4, 960	4,840	5, 129					
27年度成果・課題	市内全域にお	おける整備水≧	準格差を是正 ~	するために道	路改良工事を	実施した。			
28年度成果・課題	市内全域にお	可内全域における整備水準格差を是正するために道路改良工事を実施した。							
29年度成果・課題	市内全域にお (5,129m)を実		準格差を是正	するため、道	路拡幅工事(1,062m)道路改	女良工事		

【歩道・自転車道の整備】

建設部道路維持課

【多色 自构单色》是加了								
予算科目	一般会計 2-	-1-13-080		全体実施期間一				
事業の概要	歩行者・自転	歩行者・自転車利用者の安全のため市内道路にカラー舗装を整備する。						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
路肩カラー舗装 (小学校区)	区	2	1	1	1	1	26	
<実 績>	区	2	2	6				
自転車道カラー舗装	箇所		検討			1	_	
<実 績>	箇所							
27年度成果・課題	路肩カラー舗 して注意喚起		より歩行者の! 寺できるよう		と、車両に対	けして速度抑制	削や通過に対	
28年度成果・課題		路肩カラー舗装の整備により歩行者の路肩への誘導と、車両に対して速度抑制や通過に対 して注意喚起の効果が期待できるようになった。						
29年度成果・課題	路肩カラー舗 変更する。自	 装計画を前例 転車道カラー	到し、6 小学 一舗装は、検	校区実施した 討を継続する	。30年度以陷 。	をは、2小学校	区の計画に	

【公用自転車の整備】

総務部財産管理課

【公用日料中沙童佣】								
予算科目	一般会計2-1	-6-020		全体実施期間		平成20年度~		
事業の概要	職員の近距離	職員の近距離移動のため公用自転車を整備する。						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公用自転車台数	5台	7台	7台	7台	7台	7台	7台	
<実 績>	_		7台	7台	9台			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
公用自転車利用 啓発	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1				
27年度成果・課題	利用簿がない れているよう					易を見ると、頻	預繁に利用さ	
28年度成果・課題		川用簿がないので、正確な利用実績は分からないが、自転車置場を見ると、頻繁に利用さ いているようである。公用自転車が古くなってきた。						
29年度成果・課題	利用簿がない れているよう					易を見ると、頻 夏新した。	勇繁に利用さ	

<取組4 エコカー・エコドライブの推進> 〇エコカー・エコドライブの推進 【低公害車購入】※重点施策1-3

総務部財産管理課 • 各課

【似公青里賻八】※里》	里只肥東1-3 松勞部別生官理課・台灣							
予算科目	一般会計			全体実施期間 平成22年度~			~	
事業の概要	公用車は低燃費かつ低排出ガス認定車や電気自動車等の低公害車を購入する。							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公用車における 低公害車の割合	46.7%	65.3%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%	72.0%	
<実 績>	_		70.9%	73.0%	75.0%			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
低燃費かつ低排出 ガス認定車等購入	台	10	10	10	10	10	_	
<実 績>	台	24	29	28				
27年度成果・課題	センター1台 所1台、清掃	消防車4台、パッカー車1台、小型乗用車2台、普通自動車2台、軽自動車15台(保健 センター1台、建築課1台、区画整理課2台、道路維持課1台、教育委員会1台、一宮支 所1台、清掃事業課1台、介護高齢課4台、水道業務・整備課2台、下水管理課1台)を 購入した。今後も電気自動車の導入を推進していくことが課題である。						
28年度成果・課題	自動車3台、 支援課1台、 持課2台、T	油圧ショベル 介護高齢課 が管理課 2 7	レ1台、軽自 4台、保険セ 台、教育委員	動車17台(ンター1台、	財産管理課1 農務課1台、 、学校給食調	12台、救急 1台、福祉課2 清掃事業課1 18日台)を購 <i>7</i>	2台、子育て 1台、道路維	
29年度成果·課題	車1台、防火 台、子育て支 課2台、道路 宮支所1台)	《広報車1台、 泛援課1台、 系維持課2台、	軽自動車2 介護高齢課3 区画整理課 導入コスト	0台(財産管 台、保健セン 1台、教育委	理課1台、資 ター1台、文 員会庶務課1	意物自動車1台 養産税課1台、 変化振興課3台、 さい、スポーツ ブリッド車の導	福祉課1 合、清掃事業 ツ課2台、一	

【急速充電設備設置事業】

環境部環境課

【心坯儿电饮佣改旦事来】								
予算科目	一般会計 4-	-1-10-100		全体実	施期間	平成24年度~	平成24年度~	
事業の概要	市役所に急速	豆充電設備を記	设置し、市民 [、]	や事業者の電	気自動車の導	算入促進を図る	5 。	
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
設備利用数	件	550	600	600	600	600		
<実 績>	件 567 311 286 —							
27年度成果・課題		設備利用数は、前年度の275件から倍増した。今後も電気自動車の導入を促進していくこ とが課題である。						
28年度成果・課題	設備利用数に	設備利用数は、前年度の567件から半減した。						
	平成29年10月 により設備利					、市役所構内	工事の影響	

【クリーンエネルギー自動車購入費補助】※重点事業1-3

環境部環境課

1/1/1/1		35年 76年 11 57 1 76 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
予算科目	一般会計 4	-1-10-100		全体実施期間 平成28年度~			-	
事業の概要	プラグインバ	ヽイブリッドエ	車、電気自動	車、燃料電池	車導入に対し	/、補助を実施	色する。	
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
補助件数	件	検討	42	47	53	59	_	
<実 績>	件	検討	21	43			_	
27年度成果・課題	補助の実施に向け、補助対象など検討した。そして、平成28年度の補助事業開始に向けて、補助要綱(案)を準備した。							
28年度成果・課題		こり補助事業を ミ績:プラグ/		ッド車9件・電	電気自動車9件	牛・燃料電池車	巨3件	
29年度成果·課題		: 同様に補助 ミ績 : プラグ/			電気自動車9	件・燃料電池	車1件	

環境目標③ まちを涼しくしよう く取組5 ヒートアイランド対策の推進> 〇ヒートアイランド対策の推進 【都市公園整備事業】

建設部公園緑地課

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	фл. А. ⇒1. о			人从中	+/ Hu BB	/Œ X	中五国冰地味		
予算科目	70 70 11.1	-5-5		全体実	施期间				
事業の概要		『に基づく公園	園の整備						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
1人あたり 都市公園等面積	22. 5 m²	23. 3 m²		_		_	26.0 m²		
<実 績>	_	_	$23.2\mathrm{m}^2$	23. 1 m²	23. 1 m²				
身近に公園のある 地域の割合	71.0%	71.7%	_	_	_	_	75.0%		
<実 績>	_	_	71.9%	71.9%	71.9%				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
豊川市平和公園 (仮称)	式	1 (設計)	1 (設計・ 用地)	1 (工事)			29, 632 m²		
<実 績>	m²	29,600	29,600	29, 632					
豊川駅東土地区画 整理地内公園	式	1 (工事)	1 (工事)	1 (工事)	1 (設計)	1 (工事)	19, 000 m²		
<実 績>	m²	15,000	15, 000	15,000					
豊川市スポーツ公園	式	1 (用地)	1 (設計・ 用地)	1 (工事)	1 (工事)		76, 730 m²		
<実 績>	m²	6, 716	2, 366	32,000					
一宮大木土地区画整理 地内公園	式		1 (設計)	1 (工事)		1 (設計)	9, 350 m²		
<実 績>	m²		1, 733. 4	1, 733. 4					
西部土地区画整理地内 公園	式	_	_	1 (工事)	1 (工事)		27, 180 m²		
<実 績>	m²	_	_	27,000					
27年度成果・課題	計画どおり第	計画どおり実施できた。人口が増加したため、1人あたり都市公園等面積が減少した。							
28年度成果・課題	計画どおり第	+画どおり実施できた。人口が増加したため、1人あたり都市公園等面積が減少した。							
29年度成果・課題	計画どおりま 面積は横ばい		人口が増加し	たが、公園面	積の増加に。	より1人あたり	都市公園等		

【緑のカーテンの普及・啓発事業】再掲P.3

<取組6 緑化の推進>

〇公共施設の緑化

【都市公園整備事業】再掲P.12

【公園整備事業】

[四世間] 宋]								
予算科目	一般会計 8-	-5-5	·	全体実	施期間			
事業の概要	市民参加・協	協力による公園	園の計画立案	・利用促進・	管理			
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
ワークショップを行って 整備する公園・緑地数 (累計)	2箇所	6箇所	_	_	_	_	10箇所	
<実 績>	_		6箇所	3箇所	1箇所			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
ワークショップの開催	旦		3		3	3	_	
<実 績>	旦		3	_				
公園緑地の整備	箇所	1		2		1	_	
<実 績>	箇所	1	3	2				
27年度成果・課題	平成27年度	E はワークショ	ョップを実施	しなかった。				
28年度成果・課題	計画通りワー	十画通りワークショップを実施できた。						
29年度成果·課題	ワークショッ	プの成果を励	ラ映し、公園 マ映	(大木1号公	園)の整備を	 :実施した。		

建設部公園緑地課

【アダプトプログラム事業】再掲P.51

〇緑地の保全と創出

【緑化推進事業】 建設部公園緑地課

【秋江江巴尹未】									
予算科目	一般会計 8-	-5-7-030		全体実施期間一					
事業の概要	緑化推進のた	とめの講習会の	の開催、民有	地緑化補助の	実施				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
市民と行政が協働で 管理する公園等の割合	63%	65.7%				_	75%		
<実 績>	_		65. 7%	72.0%	74. 1%				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
講習会開催	口	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	口	2	1	1					
花・苗木の配布	団体	12	10	10	10	10	_		
<実 績>	団体	12	13	14					
民有地緑化補助	件	3	2	2	2	2	_		
<実 績>	件	3	5	2					
27年度成果・課題	講習会の開催	崖や民有地の緑	录化補助など、	、計画どおり	実施すること	ができた。			
28年度成果・課題	講習会の開催	構習会の開催や民有地の緑化補助など、計画どおり実施することができた。							
29年度成果·課題				花・苗木配布 助金だけでは		緑化推進に大 : う。	てきく寄与し		

【アダプトプログラム事業】再掲P.51

【ビオトープ保全・創出支援事業】

環境部環境課

【 C A T D M E 周田大坂平米】									
予算科目	一般会計 4	-1-10-110		全体実	施期間	平成25年度~	平成25年度~		
事業の概要	ビオトープ造	きりや保全活動	めを支援する。)					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
支援件数	件	2	2	2	2	2	_		
<実 績>	件	0	0	0			_		
27年度成果・課題		ビオトープ造り、ビオトープの運用やそこでの保全活動の継続が難しい。また、活動団体 の把握も課題である。							
28年度成果・課題	ビオトープ造 の把握も課題		ープの運用や	そこでの保全	活動の継続か	ゞ難しい。また	た、活動団体		
29年度成果・課題		きりや保全活動 事業推進につい			いるため、専	専門家や赤塚1	山公園職員な		

○緑化活動の啓発【豊川市民憲章推進事業】

市民部市民協働国際課

【豆川川氏恩早批烂事業】									
予算科目	一般会計 2-	-1-23-090		全体実	施期間	昭和46年度~	昭和46年度~		
事業の概要	市民憲章推進	É協議会による	る市の木、市	の花等の苗木	無償配布				
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体					全体計画		
苗木配布	本	270	270	270	270	270	_		
<実 績>	本	本 266 250 230 —							
27年度成果・課題		豊川市民憲章推進協議会に交付金を支給し、協議会事業として緑化推進を目的に豊川市民 祭り「おいでん祭」において苗木を無償配付した。							
28年度成果・課題		豊川市民憲章推進協議会に交付金を支給し、協議会事業として緑化推進を目的に豊川市民 祭り「おいでん祭」において苗木を無償配付した。							
29年度成果・課題	豊川市民憲章 付し啓発を行				「おいでん务	咚」において詰	古木を無償配		

【緑化推進事業】再掲P.13

○開発事業への指導

環境目標④ いろいろな生き物の住む自然を守ろう

<取組7 森林の保全・整備>

〇森林の育成と管理

上来的战功林										
予算科目	一般会計 6	-2-1-010		全体実	施期間	平成18年度~				
事業の概要	林道の開設事	木道の開設事業								
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
開設工事 (延長)	m			120	30		820			
<実 績>	m			_						
27年度成果・課題	森林所有者と	森林所有者と工事承諾交渉継続中である。								
28年度成果·課題	森林所有者と	この交渉難航に	こより、国、	県と調整し事	業中止となっ	った。				
29年度成果·課題	平成28年度に	二事業中止決定	定となった。							

【小規模林道事業】

産業部農務課

	1、风候怀旦事未】								
予算科目	一般会計 6-	-2-1-020		全体実施期間 平成18年度~			-		
事業の概要	森林の保全・	整備のための	の林道の舗装	事業					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
舗装工事 (本宮山線)	m	300	300	300	300	300	6, 569		
<実 績>	m	m 306 251 280							
27年度成果・課題	平成27年度に	平成27年度は計画どおりに実施でき、事業を推進することができた。							
28年度成果・課題	事業費につい	事業費については、計画どおりであったが、物価等により実績延長が伸びなかった。							
29年度成果・課題	概ね計画どお	らりに実施する	ることができ	た。					

○開発事業への指導

〇森林の保全意識の啓発

【里山保全リーダー養成事業】※重点施策2-2

環境部環境課

【里山保全リーダー養用	戊事業】※重月	总事業】※重点施策2−2							
予算科目	一般会計 4	平成24年度~	~						
事業の概要	里山保全活動	里山保全活動を行う人材を育成し、市民による里山の管理を推進する。							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
講座修了者数 (累計)	_	44人		74人		104人	_		
<実 績>	_		_	71人					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
講座開催数	口	3	7	3	7	3	_		
<実 績>	旦	2	8	2			_		
27年度成果・課題	講座を2回、	実施した。		33人。今後は		ミリーダーファ おが継続的に活			
28年度成果・課題	平成28年度里 172人。	平成28年度里山保全リーダー養成講座を講座7回と修了式1回実施した。参加者はのベ 172人。							
29年度成果・課題	講座を2回、 里山保全リー	実施した。	参加者はのべ、	37人。 心となり設立	した団体「と	ミリーダーファ :よかわ里山 <i>の</i> b支援をしてい	の会」が、平		

<取組8 河川・海岸の保全>

〇現状把握

【身近な自然環境調査事業】再掲P.21

【環境学習推進事業】再掲P.52

〇河川・海岸の生態系の保全・再生

〇保全活動の啓発・支援

【環境保全団体育成事業】

環境部環境課

	【探况休主团件目以事余】									
予算科目	一般会計 4-1-10-110 全体実施期間 平成24年度~						~			
事業の概要	河川で環境係	R全活動を行	う団体の育成	のための支援						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
支援団体	団体	2	2	2	2	2	_			
<実 績>	団体	2	2	2						
27年度成果・課題	市民参加によ ティ推進委員 動できるよう	員会、音羽川の	の会にパック							
28年度成果・課題	市民参加によ ティ推進委員 動できるよう	員会、音羽川の	の会にパック	テスト等の資						
29年度成果・課題	ティ推進委員	員会、音羽川の	の会にパック	」(参加者88 テスト等の資 ついて検討が	材を提供した					

【クリーン大作戦】 建設部道路維持課

【グリーン大作戦】						建設計	祁追路維持課		
予算科目	国・県の予算	Ĩ		全体実	施期間	—			
事業の概要	河川の清掃	「クリーン大作	作戦」の実施			•			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
実施回数	旦	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	旦	1	1	1					
27年度成果・課題	清掃活動の実	青掃活動の実施により、参加市民の川や海への環境保全の意識向上となった。							
28年度成果・課題	清掃活動の実	請掃活動の実施により、参加市民の川や海への環境保全の意識向上となった。							
	市民(約34 を図れた。	10名)の参加	叩による清掃	活動の実施に	より、川や海	事への環境保全	との意識向上		

<取組9 水循環の保全>

○水源涵養林の保全・整備【里山林整備事業】

産業部農務課

【生山你能佣尹未】	P未】									
予算科目	一般会計 6-	一般会計 6-2-1-050 全体実施期間 平成27年度~平成29								
事業の概要	里山林(御津	は山)の整備に	こよる水源の	涵養や生物多	様性など公益	盆的機能の保金	全			
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体計								
整備面積	ha	3. 0	1. 7	3. 0		_	_			
<実 績>	ha	ha 3.0 1.7 1.1								
27年度成果・課題	県および地元	果および地元調整を図りながら、森林整備を計画どおりに実施することができた。								
28年度成果・課題	県および地元	具および地元調整を図りながら、森林整備を計画どおりに実施することができた。								
29年度成果・課題	これまで、県 施したことに	具事業とともに こよる実績と	こ整備を進め なった。	ており、平成	29年度は市事	事業予定地を!	県事業にて実			

○流域の連携【野外センター管理運営事業】

教育委員会スポーツ課

【野外センター官理連門	【野外センター官理連召事業】 マルス・マー・スター マスティー 教育安良云へか アノ科								
予算科目	一般会計 1	0-5-3-010		全体実	施期間	平成12年度~	~		
事業の概要	野外センター	-の利用による	る上下流域の	交流促進					
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
利用者人数	7,340人	7,463人	7,641人	7,472人	7,790人	7,802人	7,774人		
<実 績>	_		7,641人	7,458人	7,618人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
管理運営委託	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	千円	14, 872	14, 932	14, 932					
27年度成果・課題		市内外から多くの利用があり、上下流域の交流促進を図ることができた。木造施設の老朽化に対応すべく、計画的な修繕が必要である。							
28年度成果・課題	る自主事業の 用者の獲得に)効果もあり、 Ľ努め、リピ -	利用者数は ーターを生み	既ね一定数を 出すための施	保っているり 策を考えてい	【施設で、指定 代態である。 ⁴ いく必要がある こいく必要がま	今後も新規利 る。また、安		
29年度成果・課題	度に比べ、系 者数のさらな	川用者数が1(よる増加を目れ	60人増加した	た。平成30年 けていく。ま	度から新たな	ち。平成29年月 は自主事業を見 ま力ある施設を	昇催し、利用		

○開発事業への指導

〇水の有効利用の啓発・支援 【雨水貯留施設設置・転用支援事業】※重点施策2-4

上下水道部下水管理課・下水整備課

【附小灯笛灺钗钗匣 * #	5.用义饭尹未	冰里尽旭水	∠ -4		上一小坦口	11 小目 垤昧	一个金牌床	
予算科目	公共下水道煤	f別会計 2-1	-1	全体実	施期間	_		
事業の概要	雨水貯留施設	対設置及び浄化	と槽の雨水貯 [.]	留施設転用に	対し、補助を	実施する。		
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
雨水貯留施設 設置補助	基	29	27	27	27	27	_	
<実 績>	基	20	17	14				
浄化槽雨水貯留施設 転用補助	件	8	8	8	8	8	_	
<実 績>	件	4	0	2				
27年度成果・課題	にやさしい生 浄化槽の転用	益水対策、上下水道使用料抑制、廃棄物排出抑止、浄化槽有効利用等の効果があり、環境にやさしい生活スタイル推進に寄与した。 争化槽の転用は、下水道接続時の同時施工のため出費の集中による経済的条件があるため計画的に普及されていくことが難しい。						
28年度成果・課題	たものの普及 は、下水道接	が制し、水資 は進んでおり 接続時の同時が 、廃棄物排出)、環境にや 施工のため出	さしい生活ス 費の集中によ	タイル推進に る経済的条件	「寄与した。 ドがあるため音	争化槽の転用	
29年度成果・課題	普及は徐々に	く対策、溢水対 二進んでおり、 なして減少して	環境にやさ	しい生活スタ	イル推進に寄	が与した。但し	_設置基数が	

〇公共施設などにおける水の有効利用 【配水管整備事業】

上下水道部水道整備課

【配水官整佣事業】								
予算科目	水道企業会計	† 41-1-3-21		全体実施期間一				
事業の概要	水道管耐震布	水道管耐震布設替、区画整理に伴う配水管新設等						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
漏水修繕件数	74件	47件	60件	70件	70件	70件	70件	
<実 績>	_		35件	48件	52件			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
配水管整備工事	m	13, 920	8, 775	8, 460	7, 210	6, 400	_	
<実 績>	m	13, 123	10, 486	9, 616			_	
経年管布設替工事	m	9, 390	8, 210	5, 952	7, 130	7, 017	_	
<実 績>	m	9, 243	6, 607	7, 074			_	
27年度成果・課題	よる料金収入	、の減少や、7	k道管の経年	の成果が挙が 化による漏水 が必要である	修繕件数の増			
28年度成果・課題	る料金収入の	減少や、昭和	和40年代に整	の成果が挙が 備した配水管 水管整備事業	の経年化によ	る漏水修繕作		
29年度成果・課題	人口の減少に	よる料金収え	人の減少、経	挙がっている 年水道管の増 計画的な配水	大による漏水	(修繕件数の増	曽加が予想さ	

予算科目	公共下水道料	· 特別会計 2-1	-1-102	全体実	施期間	平成15年度~	_
事業の概要	浸透トレンチ	午管、浸透まで	上等の雨水浸:	透施設の設置			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
浸透トレンチ管延長	m	332	450	450	450	450	_
<実 績>	m	432	420	367			
浸透ます設置	基	13	12	12	12	12	_
<実 績>	基	13	4	5			
27年度成果・課題	浸透施設によ 合に補完的な る。					計画以上の同時期のよう	
28年度成果・課題	浸透施設によ 合に補完的な る。	り雨水を浸透 は機能も果たで	きさせ、健全 け。地理的条	な水環境を図 件や浸水実績	るとともに、 を考慮し、 <u></u>	計画以上の同時期のよう	同が降った場 が必要であ
29年度成果・課題		c機能も果たっ	す。ただし、 :	地理的条件や	浸水実績を考	計画以上の	

<取組10 自然環境との共生>

○動植物の調査

【生物多様性保全事業】※重点施策2-1、2-2

環境部環境課

	△ 里 □ № 2	1, 4 4					* OF THE STATE OF	
予算科目	一般会計 4	-1-10-110		全体実施期間 平成22年度~				
事業の概要	平成23年度第	₹施した「豊ノ	市の自然環	境の現況」の	データ更新			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
自然環境データの更新	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	旦	1	1	1			_	
27年度成果・課題		こどの開催時に		なで守ろう川 て配布した。				
28年度成果・課題				なで守ろう川 した。今後も			自然環境講 売的な調査が	
29年度成果・課題	座」などの開	催時に、資料	料として配布	なで守ろう川 した。今後、 検討が必要で	「豊川市の身			

○貴重な自然環境の保全【御油松並木保存整備事業】

教育委員会生涯学習課

【岬仙松业小休仔笠脯事未】									
予算科目	一般会計 10	-般会計 10-4-2-040 全体実施期間 平成20年度~							
事業の概要	御油のマツ並	油のマツ並木の保護用地として公有化を実施							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
用地測量	式		1	_	1		_		
<実 績>	式		1	_					
用地取得(公有化)	m²		115	_	1,090		_		
<実 績>	m²		115	_					
27年度成果・課題	隔年で計画的	カに用地の公布	有化を進めてい	いる。					
28年度成果・課題	天然記念物指	E然記念物指定地内の1筆の土地買収と移転補償を行った。							
29年度成果·課題	隔年で用地の)公有化を進る	めてきたが、	平成30年度以	降の事業実施	 直が難しい状況	兄である。		

【御油松並木暑観整備事業】

教育委員会生涯学習課

【柳曲似业小泉観堂哺事来】									
予算科目	一般会計 10	·般会計 10-4-2-070 全体実施期間 平成20年度~							
事業の概要	古木の樹勢回	T木の樹勢回復作業及び後継樹育成作業、植樹作業の実施							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
並木松本数	275本	292本	302本	312本	324本	334本	344本		
<実 績>	_	_	302本	319本	325本				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
樹勢回復補修作業	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1					
苗植樹	本	15	15	15	15	15	_		
<実 績>	本	12	16	15					
27年度成果・課題	堤塘復元箇別	行に植樹を行っ	った。						
28年度成果・課題	予定通り植樹	予定通り植樹を行った。							
29年度成果・課題	予定通り植樹 不良木などの				300~350本と	なっており、	今後は成長		

【身近な目然境境調査事業】※里点事業2-1、2-2										
予算科目	70 11 11 1	-1-10-110			施期間	平成22年度~	~			
事業の概要			など、身近な	自然環境の調	査の実施					
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
身近な自然環境調査市 民参加者数累計	_	974人	1,100人	1,200人	1,300人	1,400人	1,500人			
<実 績>	_		1,092人	1,253人	1,415人					
河川の水生生物 (水質階級)	豊川 I 佐奈川 II 音羽川 II	豊川 I 佐奈川 Ⅱ 音羽川 Ⅱ				-	豊川 I 佐奈川 II 以上 音羽川 I			
<実 績>	_	_	豊川 I 佐奈川 II 音羽川 I	豊川 I 佐奈川 II 音羽川 I	豊川 I 佐奈川 II 音羽川 I		日初川1			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
身近な自然環境調査	口	3			3	3	_			
<実 績>	П	3	5	5			_			
出前講座	口	2	2	2	2	2	_			
<実 績>	口	0	0	0						
27年度成果・課題	(参加者7人)	や、「音羽」	調査「手取山川水生生物調 川水生生物調 する必要があ	查」(参加者		「東三河ふるる 重した。今後も				
28年度成果・課題	人)、「音羽 「バードウォ	市民参加による自然環境調査「手取山公園」(参加者13人)、「赤塚山公園」(参加者20人)、「音羽川水生生物調査」(参加者95人)、「夜の自然観察会」(参加者21人)や「バードウォッチング」(参加者12人)を実施した。今後も、講座を開催しながら、調査を実施する必要がある。								
29年度成果・課題	(参加者14人 29人) や「ノ)、「音羽川	水生生物調査 チング」(参	🗓 (参加者8	8人)、「夜	「御津山及びるの自然観察会 の自然観察会 ^正 成30年度より	」(参加者			

〇外来生物防除や鳥獣害対策

【有害鳥獣駆除事業】

産業部農務課

【有舌鳥獸駆陈爭業】							E来部层務珠		
予算科目	/2CF -	-1-3-020		全体実施期間 平成13年度~					
事業の概要	有害鳥獣の馴	F害鳥獣の駆除活動及び被害低減のための補助等							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
サル駆除隊による 駆除頭数	_	136頭	80頭	80頭	80頭	80頭	80頭		
<実 績>	_		108頭	113頭	47頭				
ニホンザル捕獲頭数 (サル駆除隊以外)	_	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭	50頭		
<実 績>	_		36頭	24頭	18頭				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
駆除委託	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	千円	2,000	2,000	2,000					
防除対策補助	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	千円	342	238	193					
駆除報奨金	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	千円	7, 923	9, 173	7, 182					
鳥獣被害対策協議会 負担金	式	1	1	1	1	1	_		
<実績>	千円	2,870	2, 131	1, 493					
27年度成果・課題	入防護柵を割	と置するなど、	引き続き体質	制の強化に努	めた。また、	i獲檻の設置数 近年サル被割 ・ル駆除隊によ	手が増加して		
28年度成果・課題	入防護柵を割	豊川市猟友会、被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、捕獲檻の設置数の拡大、侵入防護柵を設置するなど、引き続き体制の強化に努めた。また、より効果的に捕獲するために大型捕獲檻を移設、サルの行動範囲調査、サル駆除隊による捕獲強化を実施した。							
29年度成果・課題	た。また、よ	り効果的に打 レによる被害	甫獲するため	こサルの行動	範囲調査や地	き続き体制 <i>0</i> 	二大型捕獲檻		

○開発事業への指導

環境目標⑤ 身近な自然を守ろう <取組11 農地の保全>

〇農地の保全

【土地改良事業(補助·市費単独)】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-	1-5		全体実施期間		平成18年度~				
事業の概要	農業水利施設	農業水利施設の新設及び改良								
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
かんがい排水整備事業	地区	8	11	10	10	10	_			
<実 績>	地区	8	6	5						
農道整備事業	地区	5	6	6	6	6	_			
<実 績>	地区	4	2	1						
27年度成果・課題	基盤整備促進 補助事業(県	国は予算をH27年度から数年、東日本大震災の復興費に多く充当する方針である。農業 基盤整備促進事業(国費50%、県費10%補助)の採択が厳しくなるため、県では単県 補助事業(県費60%補助)に振替を検討しているが、全ての事業が採択されることは大 変難しい状況である。								
28年度成果・課題	県では単県費	農業基盤整備促進事業(国費50%、県費10%補助)の採択が厳しくなっているため、 県では単県費補助事業(県費60%)に振替を検討しているが、全ての事業が採択される ことは大変難しい状況である。								
29年度成果・課題	老朽化施設が況である。	 ぶ多数あるなた	い、県の補助	 事業の枠が限	られており、	十分な対応な	ぶできない状			

【十地改良施設維持管理滴正化事業】

産業部農務課

上地以及地族權的官程過上化事未										
予算科目	一般会計 6	-1-5-040		全体実	施期間	平成19年度~	,			
事業の概要	排水機場の修	を 善 接 及 び 排 水 は	路の浚渫、補	修事業						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
排水機場修繕	箇所	1	1	2	2	1	_			
<実 績>	箇所	1	1	1						
排水路浚渫	地区	1	0	1		1	_			
<実 績>	地区	1	0	0						
27年度成果・課題			間 5 年間のう なるとは限ら		地改良事業団]体連合会が決	や定するた			
28年度成果・課題		事業の実施年度は事業期間5年間のうちで愛知県土地改良事業団体連合会が決定するため、希望どおりの年度となるとは限らない。								
29年度成果・課題				されており、 って実施して		いため実施問	時期に費用が			

【多面的機能支払交付金事業】

産業部農務課

【多曲印成肥入14久门3	7立 尹未】								
予算科目	一般会計 6-	-1-5-055		全体実施期間 平成19年度~			,		
事業の概要	農地や農業旅	也や農業施設の保全を行う組織に対する交付金							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
農地維持支払交付金	組織	7	7	7	7	7			
<実 績>	千円	10,610	10, 580	9, 730					
資源向上(共同活動) 支払交付金	組織	5	5	5	5	5			
<実 績>	千円	3, 435	3, 420	3, 024					
資源向上(長寿命化) 支払交付金	組織	4	4	4	4	4	_		
<実 績>	千円	9, 864	7, 864	8, 547					
27年度成果・課題	困難な地区か		死存の組織の	中には、役員	の高齢化と後	【少し、新規総 後継者の不足等 織がある。			
28年度成果・課題	困難な地区か	業業者の高齢化及び後継者の不足等により地元の農業者人口が減少し、新規組織の立上が 関難な地区が多数ある。既存の組織の中には、役員の高齢化と後継者の不足等から、1期 (5年間)の期間が終了後、2期目(5年間)の継続が困難な組織がある。							
29年度成果・課題	困難な地区か	ぶ多数ある。	死存の組織の	中には、役員	の高齢化と後	【少し、新規線 後継者の不足等 いとならない	穿から、2期		

【耕作放棄地(遊休農地)復旧対策支援事業】※重点施策2-3

産業部農務課

【耕作放莱地(近外展)	吧(近怀辰地)復口对宋文佐尹耒】《里总旭宋2-3									
予算科目	一般会計 6	-1-3-040		全体実	施期間	平成21年度~	~			
事業の概要	耕作放棄地の	作放棄地の再生利用等を行う耕作放棄地対策協議会への負担金								
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
耕作放棄地の解消	2. 3ha	34.1 ha	40.0 ha	46.0 ha	52.0 ha	58.0 ha	64.0 ha			
<実 績>	_		10.2 ha	13.9 ha	15.9 ha					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
協議会負担金	千円	480	480	480	480	480				
<実 績>	千円	480	480	480						
27年度成果・課題		工努め、既存の ママママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ アママ アマ		ちろんのこと	、新たな担い	・手による制 原	度の利用促進			
28年度成果・課題		制度の周知に努め、既存の担い手はもちろんのこと、新たな担い手による制度の利用促進 と図ることが喫緊の課題である。								
29年度成果・課題	昨年度は、制度だけの成果 る。	‡作放棄地再生 そではなく、約	生利用補助の 継続して利用	利用が多く、 してもらうよ	多くの耕作が う引き続き制	女棄地が再生る 別度周知に努&	された。単年 める必要があ			

産業部農務課

予算科目		-1-3		全体実施期間 平成22年度~					
事業の概要	地域農業を支	域農業を支える担い手の育成等を行う担い手育成協議会への負担金							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
新規就農者人数	_	13人	15人	15人	15人	15人	15人		
<実 績>	_	_	14人	20人	20人				
とよかわ農業市 参加人数	_	1,500人	3,000人	3,000人	3,000人	3,100人	3,100人		
<実 績>	_	_		3,630人	5,300人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
協議会負担金	式	1	1	1	1	1			
<実 績>	千円	1, 400	1, 400	1, 400					
農業塾・就農塾の開催	塾	2	2	2	2	2			
<実 績>	塾	2	2	2					
27年度成果・課題	たに就農を希	言望する者を確	雀保し、育成		めに担い手育	≹しようとする 育成総合支援協			
28年度成果・課題	う各事業の実 ため、とよか	新たに就農を希望する者を確保し、育成、支援するために担い手育成総合支援協議会が行う各事業の実施のため、負担金を支払い農業振興に努めた。また、地産地消の推進を図るため、とよかわ農業市を開催し、とよかわ産農産物のPRに努めた。来場者の増員に努め、より一層のPRを図る必要がある。							
29年度成果・課題	う各事業の実 し、とよかれ	E施のため、 負	負担金を支払 PRに努めた。	い農業振興に	努めた。また	育成総合支援 、とよかわ の、出展者のす	農業市を開催		

○農業への支援 【農業近代化資金利子補助・農業経営基盤強化資金利子補助事業】

【農業近代化資金利子的	用切・農業経済	刀・農業経宮基盤強化貧筮利ナ補助事業】							
予算科目	一般会計 6	-1-3-070		全体実	施期間	昭和44年度~	昭和44年度~		
事業の概要	農業近代化資	全及び農業総	圣営基盤強化	資金に対する	利子補給				
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年月							
利子補給補助	件	105	71	71	69	69	_		
<実 績>	件	件 98 112 143							
27年度成果・課題		さの近代化を持 と行い農業振り		術等の向上を	図る活動を支	反接するため、	農業関係団		
28年度成果・課題	農業者の経営 体等に補助を	と業者の経営の近代化を推進し農業技術等の向上を図る活動を支援するため、農業関係団 は等に補助を行い農業振興に努めた。							
29年度成果·課題	農業者の経営 団体等に補助				を図る活動を	と支援するため	め、農業関係		

【市民小菜園管理運営事業】

産業部農務課

1	予算科目	/= 4 -1	-1-2-030		全 休宝	按	昭和59年度~				
		70 12 11:1			全体実施期間 昭和59年度~						
	事業の概要	市民小菜園	(9箇所) の管	9箇所)の管理運営							
	計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
	管理運営	式	1	1	1	1	1	_			
	<実 績>	式	1	1	1						
	27年度成果・課題	るため、市国 9箇所ある小	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。)箇所ある小菜園のうち、一部に若干の空き区画があるものの、ほとんどの小菜園の区画 は利用されている状況である。								
	28年度成果・課題	るため、市国 8箇所ある小	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。 3箇所ある小菜園のうち、一部に若干の空き区画があるものの、ほとんどの小菜園の区画は利用されている状況である。								
	29年度成果・課題	るため、市民 固定資産税相	R小菜園の管理 目当額分の負担	じて土や緑に類 理運営を行った 型の見直し及び が生じてきた。	た。今後につ び平成28年度	いて、年々増	曽加を続ける信	昔地料のうち			

【地産地消推進・こだわり農産物推進事業】

産業部農務課

【地座地府推進・こにわり展座物推進事業】									
予算科目	一般会計6-1-	-2-060		全体実施期間 平成16年度			~		
事業の概要	食の安全や輔	前送による環境	竟配慮を含め	た地産地消の	推進及びこた	ごわり農産物則	反売の促進		
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
イベント開催・参加	旦	6	6	6	6	6	_		
<実 績>	旦	6	5	6					
27年度成果・課題	産物審査委員	豊川市農政企画協議会において、食の安全安心システム推進事業として豊川市こだわり農 産物審査委員会を開催した。また、こだわり農産物を広くPRするため、とよかわ農業市 こ参加し、販売促進に努めた。							
28年度成果・課題	産物審査委員	豊川市農政企画協議会において、食の安全安心システム推進事業として豊川市こだわり原 産物審査委員会を開催した。また、こだわり農産物を広くPRするため、とよかわ農業市 こ参加し、販売促進に努めた。							
29年度成果・課題	産物審査委員	員会を開催した	た。また、こ	安全安心シス だわり農産物 E促進に努めた	を広くPRす				

<取組12 巨木・名木の保全> 〇巨木・名木の保全 【巨木・名木保全事業】

建設部公園緑地課

						/L / L				
予算科目	一般会計			全体実施期間一						
事業の概要	公園等にある	☆園等にある名木の選定及びPRによる保全の促進								
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
名木選定	_	実施	_	_		_	拡大			
<実 績>	_		未実施	未実施	未実施					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
選定樹木のPR	式	1	1	1	1	1				
<実 績>	口	1	1	1						
追加選定の検討	式	1	1	1	1	1				
<実 績>	対応状況	未実施	未実施	未実施						
27年度成果・課題	ホームペーシ	ジ及びパンフロ	レットを窓口	で配布しPR	を行った。					
28年度成果・課題	ホームペーシ	ホームページ及びパンフレットを窓口で配布しPRを行った。								
29年度成果・課題	自然観察会のホームペーシ		場である手取 た。	 山公園内の樹	木について講	排話し、その 第				

【身近な自然環境調査事業】再掲P.21

環境目標⑥ ごみを減らして、リサイクルしよう 〈取組13 リフューズ・リデュース(断る・減らす)の推進〉

〇ごみ減量の推進 【ごみ処理基本計画策定事業】※重点施策3-1

環境部清掃事業課

[[]] 水色性基本的固水化等来。											
予算科目	一般会計 4-	-2-1-030		全体実施期間 平成22年度~							
事業の概要	ごみ処理基本	ごみ処理基本計画の策定									
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
市民1日一人当たり ごみ排出量	1,099g	1,043g	1,043g	1,026g	1,011g	995g	980g				
<実 績>	_	_	1,033g	1,018g	1,016g						
市民一人当たりの 年度間ごみ処理費	10,776円	10,522円	10,298円	10,053円	9,801円	9,564円	9,400円				
<実 績>	_	_	10,547円	10,893円	11,115円						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画				
基本計画策定委託	式	1	取組実施			-	_				
<実 績>	対応状況	策定	取組実施	取組実施			_				
修正事項	平成27年度 から1,033g		一人当たりご	み排出量<実	績>について	て、算出ミスに	こより1,067g				
27年度成果・課題	ごみ処理基本	六計画継続中 。	次期のごみ	処理基本計画	を策定した。						
28年度成果・課題	ごみ処理基本	計画継続中。									
29年度成果・課題	ごみ排出量に ごみ処理費に	こついては、注	載少している:	が、目標値を 上げや資源化 いる。		きの追加等に作	半い増加して				

【生ごみ処理機購入支援事業】※重点施第3-4

環境部清掃事業課

【生こみ処理機購入又1	发尹耒』※里》	事来 】 % 里总胞束3 ⁻⁴									
予算科目	一般会計 4	-2-1-040		全体実施期間 平成22年度~			~				
事業の概要	電動式生ごみ	↓処理機購入!	こ対する補助	-		•					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画				
生ごみ処理機 購入費補助	台	30	30	30	30	30	_				
<実 績>	台	台 20 25 14									
27年度成果・課題				家処理するこ 助金を交付し)減量化を図る	るため、電動				
28年度成果・課題	可燃ごみの約 式生ごみ処理	J燃ごみの約4割を占める生ごみを自家処理することで、ごみの減量化を図るため、電動 大生ごみ処理機を購入した25人に補助金を交付した。									
29年度成果·課題	可燃ごみの終 式生ごみ処理	14割を占める 関機を購入し7	る生ごみを自 た14人に補	家処理するこ 助金を交付し	とで、ごみのた。)減量化を図る	るため、電動				

【ごみ減量推進事業】

【こ グ 順 重 推 理 争 業 】									
予算科目	一般会計 4	-2-1-040		全体実施期間 平成28年度~			-		
事業の概要	生ごみ減量装	長置の導入支持	爰の検討(実	証実験)					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
生ごみ消滅容器	台		10	10			_		
<実 績>	台		7	15					
実証実験・検討	式		1	1	1	1	_		
<実 績>	対応状況	研究	実証実験	実証実験					
27年度成果・課題	実証実験の実	実証実験の実施に向け、研究した。							
28年度成果・課題	生ごみ減量装た。	長置の導入支持	爱のため(キュ	エーロ(生ご	み消滅容器))実証実験を	そ7台実施し		
29年度成果・課題	実施した。 家庭から排出	出される可燃。 序及を通して、	爱のためキエ・ ごみの中で最 ごみの減量(も多い生ごみ	を削減するこ	ことは重要であ	らり、生ごみ		

○ごみ減量の啓発・支援 【ごみ減量・リサイクル推進啓発事業】

環境部清掃事業課

【こみ順重・リザイク						現場的有 押 事業研		
予算科目	,	-2-1-040		全体実		平成18年度~	平成18年度~	
事業の概要			ケル講座、施	設見学等の実	施			
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
講座参加者数	1,405人	889人	950人	1,000人	1,050人	1,100人	1,150人	
<実 績>	_		523人	716人	521人			
清掃工場見学	40件 2,225人	39件 2,145人	40件 2, 225人	40件 2, 225人	40件 2, 225人	40件 2,225人	40件 2,225人	
<実 績>	_	_	32件 1,772人	38件 2, 219人	41件 2,311人			
収集車派遣	_	9校 713人	13校 860人	13校 860人	13校 860人	13校 860人	13校 860人	
<実 績>	_	_	7校 474人	8校 564人	7校 462人			
最終処分場見学	24件 1,178人	19件 848人	20件 850人	20件 850人	20件 850人	20件 850人	20件 850人	
<実 績>	_	_	19件 990人	21件 1, 206人	30件 1, 298人			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
説明会・出前講座	口	18	20	22	24	26	_	
<実 績>	口	17	25	13				
リサイクル講座	口	2	2	2	2	2	_	
<実 績>	口	2	2	2				
清掃工場見学	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	件	32	38	41				
収集車派遣	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	校	7	8	7				
最終処分場見学	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	件	19	21	30				
27年度成果・課題	小学4年生の 施した。	社会科の授業	業の一環とし	て、希望のあ	った小学校で	説明会を開催し ご出前講座や旅	西設見学を実	
28年度成果・課題						説明会を開催し ご出前講座や旅		
29年度成果・課題	た。また、 を求める心を 行動を起こす あった小学校 見学を実施し	「循環型社会」 と育むため及び 「きっかけとか なでごみの分別	にむけた取 びごみの減量 なるように、 別・収集・処	り組みへの関 化・資源化に 小学4年生の 理方法や資源	心や理解を深ついて興味や 社会科の授業	上町内会で説明 そめ、より良い 関心を持って その一環として こついての出前	ν環境づくり こいただき、 こ、希望の	

【ごみ減量推進員認定事業】

【こ か									
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実	施期間	平成27年度~	平成27年度~		
事業の概要	地域のごみ洞	成量意識向上の	のため、ごみ	減量推進員認	定制度の実施	<u>ti</u>			
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体							
ごみ減量推進員取組事業	式		_	1	1	1	_		
<実 績>	対応状況	対応状況 未実施 未実施 未実施							
27年度成果・課題	認定制度につ	認定制度について、調査・研究を実施していく。							
28年度成果・課題	認定制度につ	R定制度について、調査・研究を実施していく。							
29年度成果・課題	認定制度につ	ついて、他市の	の事例を参考	に検討してい	るが実施には	は至っていない) 0		

【ごみ減量プロジェクトチームによる取組事業】※重点施策3-1

	7 71105	7 11-28 3 水陆							
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実施期間一					
事業の概要	「ごみ減らし	レ隊」の取組に	こよるごみ減	量施策の提案	・実施				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
ごみ減らし隊取組事業	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	対応状況	打合会6回実施	打合会6回実施	打合会4回実施					
27年度成果・課題	ごみ減量施第	ごみ減量施策及びごみ処理基本計画について協議検討を行った。							
28年度成果・課題	ごみ減量施第	受及びごみ減 量	量分別冊子に [、]	ついて協議検	討を行った。				
29年度成果・課題	ごみ減量分別また、ごみ分	リ冊子につい 分別促進アプリ	て協議検討を	行い、改訂版 議検討を行い	を9月に発行 、平成30年3	した。 月に運用開始	した。		

<取組14 リユース(再使用)の推進>

〇再使用の推進

【ごみ処理基本計画策定事業】再掲P.28

【フリーマーケット開催支援】

環境部清掃事業課

	主义]友】		探					
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実施期間 平成9年度~				
事業の概要	市民団体が開	催するフリ-	ーマーケット	の支援				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
フリーマーケット開催	口	2	2	2	2	2	_	
<実 績>	□	2	2	2				
フリーマーケット 開催支援	式	1	1	1	1	1		
<実 績>	式	1	1	1				
27年度成果・課題				団体が行うフ をするなどの		, トの情報を広 <u>-</u> 。	な報へ掲載す	
28年度成果・課題		不用品の再使用を推進するため、市民団体が行うフリーマーケットの情報を広報へ掲載するとともに、会場の使用料の減免申請をするなどの支援を行った。						
29年度成果・課題	るとともに、		斗の減免申請			・トの情報を位 こ。集客数を確		

【不用品交換情報誌発行事業】

環境部清掃事業課

	4 4 714 2			>K2016111111 1 2K8K					
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実	施期間	平成6年度~			
事業の概要	不用品交換情	青報誌「月刊/	ウルクル <u>」</u> の	発行					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
情報誌発行	部	2, 500	2, 500	2, 500	2,500	2, 500	_		
<実 績>	部	2, 556	2, 705	2, 700					
27年度成果・課題		可民から提供される不用品の情報をもとに、毎月情報誌を発行して窓口に設置するととも こ、各支所や図書館、文化会館などの施設に配布した。							
28年度成果·課題		市民から提供される不用品の情報をもとに、毎月情報誌を発行して窓口に設置するととも こ、各支所や図書館、文化会館などの施設に配布した。							
29年度成果・課題	登録件数は洞 Eメールでの また、発行音	战少傾向にある ○登録、登録る 『数の拡大を図	るため、運用 皆の氏名掲載 図るため、粗	は、55件84点 方法を変更し の廃止を実施 大ごみリユー より開始した	、写真を含め した。 ス推進事業の				

〇再使用の啓発・支援 【不用品展示販売所支援事業】

【个用品展示販売所文集	麦 爭 兼 】	事業】								
予算科目	一般会計 4	-2-1-040		全体実施期間 平成29年度~			-			
事業の概要	市民団体の選	「民団体の運営する不用品展示販売の設営支援								
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
不用品展示販売	式			1	1	1	_			
<実 績>	対応状況	研究	研究	研究 1						
27年度成果・課題	支援事業につ	支援事業について、調査・研究を実施していく。								
28年度成果·課題	支援事業につ	ついて、調査	・研究を実施	していく。						
29年度成果・課題		ムース推進事業	業の試行とし			学を希望者へ無 関情報誌「月刊				

<取組15 リサイクル(再生利用)の推進>

〇再生利用の推進

【ごみ処理基本計画策定事業】再掲P.28

【再生資源回収事業】

環境部清掃事業課

						28.500		
予算科目	一般会計 4	-2-1-040		全体実施期間一				
事業の概要	資源(古紙、	古布、カン、	ビン、ペッ	トボトル、白	色トレー)回	収業務委託		
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
市民1日一人当たり ごみ排出量	1,099g	1,043g	1,043g	1,026g	1,011g	995g	980g	
<実 績>	_	_	1,033g	1,018g	1,016g			
上記のうち資源回収量	199g	178g	174g	184g	241g	303g	330g	
<実 績>	_	_	170g	158g	162g			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
拠点回収	回/月	2	2	2	2	2	_	
<実 績>	回/月	2	2	2				
ステーション回収	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	か所	1,638	1,658	1,673				
修正事項	平成27年度 から1,033g		一人当たりご	み排出量<実	績>について	て、算出ミスに	こより1,067g	
27年度成果・課題	週 1 回のスラ の増加を図っ		又及び月2回	の拠点回収に	より、引き線	たき資源を回収	又できる機会	
28年度成果・課題	週1回のスラ の増加を図っ	週1回のステーション回収及び月2回の拠点回収により、引き続き資源を回収できる機会 の増加を図った。						
29年度成果・課題	目標指標の資	資源回収量に~	ついて、古紙	の拠点回収を やビン缶など したことによ	の回収量や有	ず価物回収量に	は毎年減少し	

【家庭からの廃食油のBDF化推進事業】※重点施策3-3

【								
予算科目	一般会計 4	一般会計 4-2-2-080 全体実施期間 平成21年度~						
事業の概要	家庭から出る	廃食用油の資	資源回収及び	BDF化				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
年間回収量	585ℓ	10,0120	11,0000	11,0000	12,0000	12,0000	13, 000ℓ	
<実 績>	_		11, 1130	11,8000	12, 3090			
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体計画						
廃食用油の回収	式	式 1 1 1 1 1 1 —						
<実績>	Q	11, 113	11, 800	12, 309				
27年度成果・課題		回収は、前年月 双可能な範囲		増加し、目標	を達成した。	現行の収集職	競員(再任用	
28年度成果・課題		発食用油の回収は、前年度より6870増加し、目標を達成した。現行の収集職員(再任用 2 名)で回収可能な範囲で実施。						
29年度成果·課題						見行の収集職員 曽やすことが重		

予算科目	一般会計 4	-2-1-050		全体実	施期間	_		
事業の概要	有価物回収第	有価物回収実施団体への補助						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
市民一人1日当たり 有価物回収量	33g	29g	29g	33g	33g	33g	35g	
<実 績>	_	_	28g	27g	26g			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
集団回収量	t	1, 919	2, 222	2, 222	2, 222	2, 323	_	
<実 績>	t	1,871	1,825	1, 708				
登録団体	団体	68	69	70	71	72	_	
<実 績>	団体	67	68	68				
27年度成果・課題			図るため、年 助金を交付し		有価物回収を	実施した町内	内会や学校、	
28年度成果・課題			図るため、年 助金を交付し		有価物回収を	実施した町内	内会や学校、	
29年度成果・課題	保育園など 6 タブレット端 資源としての 有価物回収事 ともに、市員	8団体に補助 場末の普及に。 対象物の減少 野業は地域の	助金を交付し よる新聞、雑 かもあり、補 舌動として定 全の啓発とし	た。実施団体 誌の減少や事 助実績量も減 着しており、	は横ばいであ 業者の容器の 少傾向である ごみの減量化	と実施した町内の のを基化、薄内の とと資源の再系 を継続し登録	マーネットや 肉化等により 川用を図ると	

【資源化施設整備事業(刈草・剪定枝)】※重点施策3-2

環境部清掃事業課

	(7)								
予算科目	一般会計 4	-2-5-010		全体実	施期間	平成20年度~	~平成28年度		
事業の概要	刈草・剪定校	ちのチップ化	• 堆肥化施設	の整備		-			
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
可燃ごみ量	53, 579t	53, 329t	53, 211t	51, 575t	46,680t	41, 461t	38, 339t		
<実 績>	_		54, 516t	54, 469t	54, 149t				
刈草・剪定枝のチップ 化・堆肥化量	_	_	_	_	3, 224t	3, 616t	4, 007t		
<実 績>	_		_	41t	787t				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
建設工事	式	1	1	稼動		-	· —		
<実 績>	対応状況	整備中	竣工	稼動					
27年度成果・課題	整備工事に着	手手し、平成:	29年度から	事業実施を予	定している。				
28年度成果・課題	平成29年3	平成29年3月から事業を実施した。							
29年度成果・課題	資源化施設の 保を拡充する			枝の搬入量拡	大と、堆肥化	ヒ・チップ化物	ッの搬出先確 かの搬出先確		

〇再生利用の啓発・支援

【ごみ減量・リサイクル推進啓発事業】再掲P.29

【バイオマス利活用畜産振興事業】

産業部農務課

	五灰六 子木			產業即展物縣					
予算科目	一(国費直接	接補助)		全体実	施期間	平成15年度~			
事業の概要	食品残渣の飼	食品残渣の飼料化の取組に対する支援							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
事業啓発・支援	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1					
27年度成果・課題						品残さの飼料(ハトワークにる			
28年度成果・課題	豊川宝飯地域 究、推進した					品残さの飼料(ハトワークにす			
29年度成果・課題	て飼料を生産 市内の製造業	をし、養豚農家	家3戸に供給 された食品残	をした。 渣299トン		置により食品系 地域資源の7			

環境目標⑦ ごみをきちんと処理しよう 〈取組16 廃棄物処理施設の整備推進〉

〇廃棄物処理施設の整備

【清掃工場長寿命化事業】

環境部清掃事業課

【相师工物文对叩忆事来】									
予算科目	一般会計 4	-2-3-010		全体実施期間		平成26年度~	J		
事業の概要	清掃工場長寿	請掃工場長寿命化計画に基づく延命化のための設備工事等の実施							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
清掃工場焼却量 (再処理物除く)	53, 579t	53, 329t	53, 211t	51, 575t	46,680t	41, 461t	38, 624t		
<実 績>	_	_	54, 516t	54, 469t	54, 149t				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
A棟基幹的設備改良工 事	式	1	1				_		
<実 績>	式	1	1						
B棟基幹的設備改良工事 及び大規模整備工事	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1					
27年度成果・課題	平成27年度	EからA棟及で	びB棟の基幹	的設備改良工	事に着手し、	工程通り進捗	步している。		
28年度成果・課題		A棟の基幹的設備改良工事は平成28年度で終了。B棟の基幹的設備改良工事は平成27 F度に着手し、工程通り進捗している。							
29年度成果・課題	平成27年度 ている。	で に着手した、	B棟の基幹	的設備改良工	事は3年目と	なるが、工程	呈通り進捗し		

【焼却灰の埋立処理事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4	-2-2-050		全体実施期間					
事業の概要	燒却灰埋立处	焼却灰埋立処理の適正管理							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
焼却灰埋立処理量	1, 955 m³	2, 000 m ³	$2,100\mathrm{m}^3$	2, 100 m ³					
<実 績>	_	_	1,895 m³	2, 005 m ³	1, 765 m³				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
浸出水処理	t	16, 500	16, 500	16, 500	16, 500	16, 500			
<実 績>	t	12, 442	9, 995	9, 023					
埋立地最終形整備 (最終覆土)工事	m³	_	0	1,000	3,000		4,000		
<実 績>	m³	_	0	1, 582					
27年度成果・課題		P止していた炉 上測量結果を基					行った。 9		
28年度成果・課題		,005tの埋立処理を行った。埋立処理への支障が最低限に抑えられるよう、段階的に行う 型立地最終形整備工事の施工時期等を調整する必要がある。							
29年度成果·課題	1,765tの埋立 的に施工する	Z処理を行い、 S整備工事の第				の覆土を搬入	した。段階		

【資源化施設整備事業(不燃ごみ及び資源選別等)】※重点施策3-2

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4	-2-5-010	_	全体実施期間 平成20年度~平成20			~平成28年度			
事業の概要	不燃ごみ及び	燃ごみ及び資源の選別施設と紙類ストックヤードの整備								
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
建設工事	式	1	1	稼動		*				
<実 績>	対応状況	整備中	竣工	稼動						
27年度成果・課題	整備工事に着	整備工事に着手し、平成29年度から事業実施を予定している。								
28年度成果·課題	平成29年3	3月から事業を	を実施した。							
29年度成果・課題	実施した。な	お、不燃ご。 金属・カンt	みについては	処理量1,069	トンのうち29	資源化物の適፤ 4トンを資源(, 572トン及び	とした。資源			

【資源化施設整備事業(刈草・剪定枝)】再掲P.33

<取組17 廃棄物の適正な処理の推進>

〇ごみの適正処理の推進

【資源持ち去り及びポイ捨て防止事業】

環境部清掃事業課

	1 10 (0) 11 7									
予算科目	一般会計 4·	-2-1-020		全体実施期間 平成22年度~			~			
事業の概要	監視パトロールの実施及び啓発指導									
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
指導件数	_	_	_	50件	40件	30件	20件			
<実 績>	_		31件	113件	49件					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
監視パトロール 及び啓発指導	式	1	1	1	1	1				
<実 績>	式	1	1	1						
27年度成果・課題				を防止するた を行い、改善		こる定期パトロ	コールを行			
28年度成果・課題		資源等の持ち去り行為やポイ捨て行為を防止するため、職員による定期パトロールを行 ハ、違反者を発見した場合には勧告等を行い、改善を求めた。								
29年度成果・課題	い、違反者を	₹発見した場合 双集を阻害し、	合には勧告等 市民の分別	を行い、改善 意識の低下を	を求めた。資	る定期パトロ で源等の持ちま あるため、本語	占り行為は、			

【ごみ運搬車両貸出事業】

環境部清掃事業課

	《大座版 早 門 貝 田 尹 未 】							
予算科目	一般会計 4	-2-1-040		全体実施期間 平成13年		平成13年度~	~	
事業の概要	ごみ運搬車両	可の市民や町2	内会への貸出					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
ごみ運搬車両貸出	件	1, 290	1, 290	1, 290	1, 290	1, 290		
<実績(貸出件数)>	件	1, 316	1, 304	1, 289				
27年度成果・課題	家庭から出る リサイクルの	家庭から出る粗大ごみの自己搬入を推進するため、軽トラックの貸出を実施した。また、 リサイクルの推進のため、有価物回収実施団体へも貸出を行った。						
28年度成果・課題		家庭から出る粗大ごみの自己搬入を推進するため、軽トラックの貸出を実施した。また、 リサイクルの推進のため、有価物回収実施団体へも貸出を行った。						
29年度成果・課題	リサイクルの)推進のため、	有価物回収	実施団体へも	貸出を行った)貸出を実施し こ。利用率の高)推進を図った	島い事業であ	

【あんしん訪問収集事業】

環境部清掃事業課

【あんしん訪問収集事	【あんしん訪問収集事業】									
予算科目	一般会計 4	-2-2-060		全体実施期間		平成28年度~				
事業の概要	ごみ排出が困	対難な高齢者等	等のごみ出し	支援						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
訪問収集量	—			5t	10t	15t	20t			
<実 績>	—									
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体計								
訪問収集利用者数	人		30	60	90	120	_			
<実績>	人		20	27						
27年度成果・課題	平成28年度	変から事業実 が	を予定して!	いる。						
28年度成果・課題	平成28年1	平成28年10月から実施しており、利用者数の増加が見込まれる。								
29年度成果·課題	利用者数、年年目であり、				届かなかった	こ。しかし、追	通年実績の1			

【再生資源回収事業】再掲P.32

【ごみカレンダー作成・配布事業】

環境部清掃事業課

TC 07.74 V V / IFAX									
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実施期間一					
事業の概要	ごみカレンタ	で一の作成及で	び配布(5か	国語)					
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体計							
ごみカレンダー 作成・配布	部	77,000	77, 000	77, 000	77, 000	77, 000	_		
<実 績>	部	77,000	77,000	77, 000					
27年度成果・課題		希望者に旧豊川・宝飯地区、外国語版のごみカレンダーを窓口で直接配布するとともに、 町内会やアパートの管理会社等を通じて住民に配布した。							
28年度成果・課題	希望者に旧豊町内会やア/	希望者に旧豊川・宝飯地区、外国語版のごみカレンダーを窓口で直接配布するとともに、 町内会やアパートの管理会社等を通じて住民に配布した。							
29年度成果・課題	町内会やアバ信(日本語の	ペートの管理会	会社等を通じ 10年3月より開	のごみカレン て住民に配布 開始し(平成2	した。また、	ごみ分別促進	生アプリの配		

〇不法投棄の防止対策 【散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」事業】

環境部清掃事業課

【取乱」が凹収連期「豆川巾侑畑の口」事業】								
予算科目	一般会計 4-	-2-1-060		全体実施期間 平成18年度~			~	
事業の概要	「豊川市清掃の日」の活動を年2回実施							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
参加者数	50,594人	55,972人	55,902人	57,000人	58,000人	59,000人	60,000人	
<実 績>	_	_	55,902人	57, 110人	55,801人			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
「豊川市清掃の日」 実施	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1				
27年度成果・課題	し、町内会や	豊川市ポイ捨て及びふんの放置の防止に関する条例に基づき、清潔で美しいまちを目指し、町内会や事業所が一体となって、道路、公園、河川などに投げ捨てられた空き缶、空きびん等の散乱ごみ等約47トンの回収をした。						
28年度成果・課題	し、町内会や	事業所が一位		道路、公園、		情潔で美しい。 没げ捨てられ <i>†</i>		
29年度成果・課題	し、町内会や	○事業所が一位 は乱ごみ等約4	本となって、 0トンの回収	道路、公園、 をした。地域	河川などに搭	情潔で美しいる とげ捨てられた は問題に対する	た空き缶、空	

【クリーン大作戦】再掲P.16

【不法投棄ごみ収集対策事業】

環境部清掃事業課

【个位12条6个权条对水学条】							
予算科目	一般会計 4	-2-2-040		全体実施期間		平成18年度~	
事業の概要	不法投棄防止	このための監視	見の実施				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
不法投棄認知件数	657件	491件	450件	425件	400件	375件	350件
<実 績>	_		380件	226件	209件		
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体					
不法投棄パトロール	式	式 1 1 1 1 1 -					
<実 績>	日	217	258	206			
27年度成果・課題	不法投棄認知 果を入力する	ロ情報を地図[うことにより記	青報システム 果内の情報を	を利用し、場 一元化した。	所、投棄物等	穿を明確にし、	また対応結
28年度成果・課題	不法投棄認知	下法投棄認知件数は、前年度より40.5%減少した。					
29年度成果・課題	便乗投棄を未	 然に防ぐた&	め、早期撤去	に努めた。			

【アダプトプログラム事業】再掲P.51

環境目標® 空・水・土を守り、健康なくらしを保とう <取組18 大気汚染や騒音などの防止> 〇大気や騒音・振動の調査 【大気汚染対策事業】

環境部環境課

【八刈竹朱刈水尹未】							农児叫來児啉		
予算科目	一般会計 4·	-1-8-030		全体実施期間一					
事業の概要	県と連携によ	県と連携による大気環境測定等の実施							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
光化学オキシダント環 境基準	未達成	未達成					達成		
<実 績>	_		未達成	未達成	未達成				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
大気環境測定	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
大気ダイオキシン類測定	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
27年度成果・課題	光化学オキシ	/ダントの問題	題は、国・県	等の関係機関	に働きかける) ₀			
28年度成果・課題	光化学オキシ	光化学オキシダントの問題は、国・県等の関係機関に働きかける。							
29年度成果・課題	光化学オキシ ける。	/ ダントの問題	題は市単独で	 の達成は難し	いため、国や	県等の関係機			

【騒音・振動対策事業】

環境部環境課

M							たったロリングでは入	
予算科目	/50 PT -	-1-10-040			施期間	_		
事業の概要	精密騒音や普	序通騒音、自動	動車騒音等の	測定の実施。				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
環境騒音	未達成	達成					達成	
<実 績>	_		達成	達成	達成			
新幹線騒音	未達成	達成				-	達成	
<実 績>	_		未達成	達成	達成			
自動車騒音	未達成	未達成				-	達成	
<実 績>	_	_	未達成	未達成	未達成			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
騒音・振動測定	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1				
自動車騒音常時測定	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1				
自動車交通騒音測定	式	1	1	1	1	1	_	
<実 績>	式	1	1	1				
27年度成果・課題	未達成だった 関係機関に働		動車騒音につり	いては、JR東	海や愛知県公	公安委員会等国	国・県などの	
28年度成果・課題		未達成だった自動車騒音については、JR東海や愛知県公安委員会等国・県などの関係機関 に働きかける。						
29年度成果・課題	目標未達成の)自動車騒音(こついては、 こついては、 動きかけ達成	市単独での達		こめ、愛知県2	公安委員会等	

○道路施設の改善

【都市計画道路改良事業】再揭P.8

〇大気汚染防止対策の推進

【公害防止協定締結事業】

環境部環境課

[五百万五] 从一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个								
予算科目	一般会計			全体実施期間一				
事業の概要	工業団地進出	工業団地進出企業などと公害防止や環境保全について協定を締結する。						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公害防止協定締結数 (累計)	74事業所	71事業所	74事業所	76事業所	76事業所	76事業所	76事業所	
<実 績>	_		75事業所	76事業所	77事業所			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
協定締結	事業所	3	2			—	_	
<実 績>	事業所	4	1	1				
27年度成果・課題	大木工業団地 結する予定で		業について、	平成28年度	までに全事業	美所との公害[方止協定を締	
28年度成果・課題	大木工業団 た。	大木工業団地への進出企業について、平成28年度に全事業所との公害防止協定を締結した。						
29年度成果·課題	御津1区工業	美団地への進品	出企業と協定	 を締結した。				

〇緑化の推進(再掲) P.13

○騒音・振動防止の指導

〇施設改善への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4	-1-10-901		全体実施期間一				
事業の概要	公害防止の旅	公害防止の施設改善に対する資金の利子補給						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
公害防除施設 整備資金利子補給	件	1	1	_	_	_	_	
<実 績>	件	1	1				_	
27年度成果・課題	公害防止のた	こめに、制度の	の周知を図る	必要がある。				
28年度成果・課題	公害防止のた	公害防止のために、制度の周知を図る必要がある。						
29年度成果·課題	平成28年度に 新規申請に対				ある可能性か	ぶあるため、行	制度の周知や	

- 〇土地利用の適正化
- 〇公共交通機関利用の促進(再掲)P.8
- 〇自転車利用の促進(再掲)P.9
- 〇エコカー・エコドライブの推進(再掲) P. 11
- 〇生活騒音の防止

<取組19 水質汚濁の防止> ○公共下水道の整備

【公共下水道整備事業】※重点施策2-4

上下水道部下水管理課 • 下水整備課

	7•\ <u>==</u> \\\\\\\\\\\	, 1		工工水色的工水自在於一十水色曲於				
予算科目	公共下水道煤	5別会計 2-1	-1	全体実施期間一				
事業の概要	第9次ほか下	水道拡張整備	⋕事業(設計	委託・工事・	補償等)			
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
公共下水道普及率	70.8%	76.3%	77. 2%	78.1%	79.0%	79.9%	80.8%	
<実 績>	_		77.4%	79.1%	81.0%			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
公共下水道整備延長	m	16, 514	15, 954	16, 210	15, 510	12, 450	_	
<実 績>	m	13, 713	14, 749	16, 149				
特定環境保全 公共下水道整備延長	m	740	1, 753	2, 478	3, 055	10, 975	_	
<実 績>	m	1,036	1, 751	3, 287				
27年度成果・課題	境保全公共下	、水道整備にく ことから整備&	ついては、道 近長が伸びた。	率については 路建設課との 。しかし、人	同調工事や、	一宮地区が暫	を備の最終年	
28年度成果・課題		目標指標の1つである公共下水道普及率については、目標値を達成できた。整備延長についても、おおむね計画どおりであった。						
29年度成果・課題				目標値を達成 ことができた		三環境保全公共	 共下水道につ	

【水洗化促進事業】※重点施第2-4

上下水道部下水管理課 • 下水整備課

【水洗化促進事業】※里思旭束Z=4									
予算科目	公共下水道特	5別会計 2-1	-1-103	全体実	施期間	_			
事業の概要	下水道未接続世帯への啓発強化								
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
公共下水道接続率	90.6%	91.9%	92. 2%	92.4%	92.7%	93.0%	93.2%		
<実 績>	_		92. 2%	91.8%	91.8%				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
未接続世帯啓発	式	1	1	1	1	1	_		
	接続対象戸数	1, 577	2, 166	1,848					
<実 績>	接続済戸数	1,647	1,710	1,724					
	未接続戸数	4,848	5, 304	5, 428					
27年度成果・課題				とにより、未 るため、接続			いし、新規地		
28年度成果・課題		新規地区の整備により接続対象戸数が増加し、未接続世帯への接続の啓発に努めたが、それ以上に未接続戸数が増えたことにより接続率91.8%となり、前年度比で-0.4%となった。							
29年度成果・課題				とにより、未 るため、接続					

○生活排水対策の啓発・支援【生活排水対策推進事業】

環境部環境課

	\sim 1						べつし ロマクト つしかん		
予算科目	一般会計 4	-1-10-060		全体実	施期間	_			
事業の概要	生活排水対策	生活排水対策の啓発(講座の開催、啓発資材の配布)							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
講座参加者数	301人	134人	150人	150人	150人	150人	150人		
<実 績>	_		133人	94人	167人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
出前講座	口	5	5	5	5	5			
<実 績>	口	5	4	6					
エコクッキング講座	口	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	口	1	1	1			_		
啓発資材の配布	個	500	500	500	500	500	_		
<実 績>	個	500	500	500					
27年度成果・課題	また、生活排	記童クラブ5回 排水クリーン排 った。今後も、	推進員を任命	しエコクッキ	ング講座(16				
28年度成果・課題	また、生活排	出前講座(児童クラブ4回=79人)や、豊川市民まつりでの啓発資材の配布を実施した。 また、生活排水クリーン推進員を任命しエコクッキング講座(15人)を開催するなど、普 及啓発を図った。今後も、継続的に啓発を行う必要がある。							
29年度成果・課題	の配布を実施	記童クラブ6回 面した。また、 よど、普及啓	生活排水ク	リーン推進員	を任命しエニ	クッキング詞			

〇合併処理浄化槽の普及・啓発 【浄化槽普及事業】※重点施策2-4

環境部環境課

【17 [1] [1] [1] [2] [2] [3] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4								
予算科目	一般会計 4-	-1-10-090		全体実施期間		_		
事業の概要	浄化槽設置に	争化槽設置に対し、補助を実施する。						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
生活排水処理率	81.3%	89.8%	91.0%	92.0%	94.0%	96.0%	97.0%	
<実 績>	_	_	92.6%	94. 2%	94. 5%			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
設置整備費補助	基	21	21	21	21	21	_	
<実 績>	基	10	9	3			_	
27年度成果・課題	補助制度につ	いて、広く原	周知を図る必!	要がある。	-	-		
28年度成果・課題	補助制度につ	補助制度について、広く周知を図る必要がある。						
29年度成果·課題				少し、それに ため、今後も				

〇その他水質浄化施策の推進

○水質の調査・監視【水質汚濁対策事業】

環境部環境課

【小貝1九到八水中未】							K-SETH SK-SETH		
予算科目	/2C=CF1 =	-1-10-020		全体実施期間一一					
事業の概要		可川水質調査等、公共用水域の水質汚濁監視							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
佐奈川(前川橋)水質 BOD75%	3.7mg/ℓ	3.0 mg/l	2.9 mg/l	2.8 mg/Q	2.7 mg/Q	2.6 mg/Q	2.5 mg/Q		
<実 績>	_		4.8 mg/Q	$6.4 \text{ mg/} \ell$	4.0 mg/Q				
音羽川(南田橋)水質 BOD75%	1.4 mg/0	1.7 mg/Q	1.5 mg/Q	1.3 mg/0	1.2 mg/0	1.1 mg/Q	1.0 mg/Q		
<実 績>	_		$0.8~\mathrm{mg}/\mathrm{\ell}$	1.6 mg/Q	$0.9~\mathrm{mg/\ell}$				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
河川水質検査	式	1	1	1	1	1			
<実 績>	式	1	1	1					
河川ダイオキシン類測定	式	1	1	1	1	1			
<実 績>	式	1	1	1					
工場排水調査	式	1	1	1	1	1			
<実 績>	式	1	1	1					
27年度成果・課題	目標を達成し	ていない佐み	奈川を中心に	、引き続き監	視を実施する	0 0			
28年度成果・課題	目標を達成し	目標を達成していない佐奈川を中心に、引き続き監視を実施する。							
29年度成果・課題				川で、目標を が、昨年度よ		「おり、引き網	売き監視を実		

〇水質汚濁防止の指導

〇水質汚濁防止への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】再揭P. 39

- <取組20 悪臭・土壌汚染・地下水汚染などの防止>
- 〇悪臭防止に向けた指導・啓発
- 〇土壌汚染・地下水汚染防止に向けた指導・啓発

【多面的機能支払交付金事業】再掲P.24

○悪臭防止への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】再揭P. 39

環境目標⑨ 快適でゆとりある生活空間をつくろう 〈取組21 ゆとりある生活空間の形成〉

〇ゆとりある生活空間の整備 【豊川駅東土地区画整理事業】

建設部区画整理課

	[川猷宋上地区四笠垤争未] 建议市区四笠垤市								
予算科目	一般会計 8-	5-2-92		全体実施期間 平成7年度~平成31年度					
事業の概要	豊川駅東土地	也区画整理事業	業 (移転補償	、道路築造等	(-)				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
豊川駅東土地区画整理 事業地内市街化率	57%	70%	72%	75%	77%	80%	82%		
<実 績>	_	_	72%	75%	77%				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
建物移転補償	件	19	22	19	25	16	563		
<実績>	件	14	7	11					
都市計画道路築造延長	m	150	95	50	0	200	1, 782		
<実 績>	m	39	0	0					
区画道路築造延長	m	550	440	780	390	1,000	15, 247		
<実 績>	m	125	438	388					
整地施工面積	m²	13, 300	14, 500	16,000	8,500	15,000	156, 270		
<実 績>	m²	6,600	2,000	4,000					
27年度成果・課題						いに実施した。 は事で、整備記			
28年度成果・課題	ており、整備 とが今後の誤 県が施行する	現在整備中の地区における移転補償は、玉突きでの関連移転が多い上に補償交渉も難航しており、整備計画に遅れが生じている。このため、一層効率の良い移転計画を策定することが今後の課題。 県が施行する姫街道線アンダー化事業が停滞しており、関連する周辺地区の整備に着手できない。事業進捗を図るため、県と調整を図る必要がある。							
29年度成果·課題	ており、整備者と密接に協 県が施行する	計画に遅れた 議していく。 が毎道線アン	が生じている。 公要がある。	。一層効率の が停滞してお	良い移転計画り、関連する	3い上に補償3 回を策定するた 5周辺地区の動 5。	こめに、地権		

【豊川西部土地区画整理事業】

【豆川四印工地区画金/	生ず未】		建 权 即 区 四 置 程 床					
予算科目	一般会計 8-	5-2-921		全体実施期間 平成7年度~平成			~平成32年度	
事業の概要	豊川西部土地	也区画整理事業	業(移転補償	、道路築造等	(-)			
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
豊川西部土地区画 整理事業地内市街化率	52%	70%	73%	77%	80%	83%	87%	
<実 績>	_		73%	76%	79%			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
建物移転補償	件	7	5	2	1		233	
<実 績>	件	4	5	4				
都市計画道路築造延長	m	316	256	180	150		3, 996	
<実 績>	m	206	291	93				
区画道路築造延長	m	380	550	870	600	1,000	21, 865	
<実 績>	m	348	282	723				
整地施工面積	m^2	20,600	32, 300	21, 200	15, 700	15,000	350, 000	
<実 績>	m^2	13,000	11,000	13,000				
27年度成果・課題		レた。主な財 治				道路築造工事 その販売方法		
28年度成果・課題	渉が難航して	都市計画道路姫街道線と八幡線の交差点整備により、区域内交通が至便になった。補償交 歩が難航している事案があり、事業進捗に影響が出ている。また、国県補助金が満額にな るので、今後は保留地の円滑な処分が重要。						
29年度成果・課題			事案があり、習地の円滑な		響が出ている	ら。また、国児	県補助金が満	

【一宮大木土地区画整理事業支援事業】

建設部区画整理課

[一宮大木土地区画整理事業文援事業] 建設部区画整理課								
予算科目	一般会計 8	-5-2-050		全体実	全体実施期間 平成16年度~平成29年度			
事業の概要	一宮大木土地	也区画整理組織	合へ一般会計	から補助				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
一宮大木土地区画 整理事業地内市街化率	_	72.5%	74.0%	75. 5%	77.0%		_	
<実 績>	_	_	74. 3%	77. 7%	80.5%			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
都市計画道路築造延長	m	350	150	0	0	0	500	
<実 績>	m	340	154	0				
区画道路築造延長	m	2, 350	1, 340	1, 100	0	0	8, 920	
<実 績>	m	1, 764	1, 907	888				
整地施工面積	m²	1,000	1,000	1,000	0	0	20,000	
<実 績>	m²	1,657	800	900				
修正事項	平成27年度:	也区画整理事 74.9% → 78.1% →	74.3%	率実績値につ	いて、見直し	を行った。		
27年度成果・課題		工事は、目標値に対し順調に進んでいる。工事予算は補助金に頼る部分が大きいので、要 求どおりの補助をしていただけるかが課題である。						
28年度成果・課題		都市計画道路も完成し、29年度で地区内の工事は完了する。組合解散などの事業完了に向 けて、全ての保留地処分と清算金の徴収が課題である。						
29年度成果・課題		ご地区内の工事 目合への一般名				ことができた。	一宮大木土	

【道路照明灯LED化事業】

建設部道路維持課

	F 7~ 1			定於印度如和門條					
予算科目	一般会計 2	-1-13-090		全体実施期間 平成27年度~			,		
事業の概要	道路照明灯を	路照明灯をLED照明灯に転換							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
道路照明LED化	基	検討		4,000			4,000		
<実 績>	基	検討	調査	3, 726			3, 726		
27年度成果・課題	LED照明灯	ED照明灯導入に向けた補助金の確保や事務手続きの調査等検討を行った。							
28年度成果・課題	LED照明灯	「導入に向け <i>"</i>	た対象照明灯	の調査・検討	を行った。				
29年度成果·課題	調査・検討に た。	基づき対象の	となる照明灯	を選定し、L	ED照明灯	(リース契約)	に転換し		

【防犯灯設置費補助事業】

市民部人権交通防犯課

1970ログ	」以 旦 貝 冊のチェ	₹					119 12 (1197 (1	E 人 地 り 7 1 1 1 1 1 1
予算科目		一般会計 2-	-1-23-060		全体実施期間一			
事業の概	既要	防犯灯を蛍光	台灯からLEDに	変更す場合の)設置費に対し	ン、補助を実	施する。	
計画事業	学量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
補助灯数	女	灯	770	770	770	770	770	_
<	<実績>	灯	643	781	957			_
27年月	度成果・課題	平成27年度 の予算の範囲 設置をしても	で執行しては	おり補助灯数	ED化率は3 の見込みを立			
28年月	度成果・課題	従来の蛍光灯	「と比較して明	明るい、電気	ED化率は3 料金が安価な えるようにし	ことから、L		
29年月	度成果・課題	平成29年度 えられ設置す 極的に設置を	る町内会にす	もメリットが		D灯への切替		

【市道拡幅改良事業】再揭P.9 【市内道路改良事業】再揭P.10

〇公園の整備

【都市公園整備事業】再揭P. 12 【公園整備事業】再揭P. 13

<取組22 人と自然がふれあえる空間の整備>

〇自然とふれあう場の整備

【桜トンネル植栽補修事業】

建設部公園緑地課

予算科目	一般会計 8	-5-5-510		全体実施期間 平成27年度~					
事業の概要	桜トンネル再		<u>_</u>	エドス	<u> </u>	1 1/2/21 1/2			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
事前協議	式	1	1	1			_		
<実 績>	式	1	1	1					
設計・整備工事	式	1	_	1			500m		
<実 績>	本	本 13 9 15							
27年度成果·課題	枯木13本の)伐採を実施し	した。新しい	木の補植は実	施できなかっ	った。			
28年度成果・課題	枯木9本の代	古木9本の伐採を実施した。新しい木の補植は実施できなかった。							
29年度成果・課題		は新しい木の袖 と上回る伐採な			枯木伐採を優	 長先して実施し	した。その結		

【都市公園整備事業】再掲P.12

【市民小菜園管理運営事業】再掲P. 26

〇自然のネットワークの整備

【都市公園整備事業】再揭P. 12

〇水に親しめる空間の整備

【佐奈川散策路整備事業】

建設部道路維持課

【任苏川飲水頃走開事术】										
予算科目	一般会計 8	一般会計 8-3-1-020 全体実施期間 平成26年度~								
事業の概要	名鉄名古屋本	□線鉄橋からり	県道金野豊川流	線までの散策	路整備					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
事前協議	式	1	1	1			_			
<実 績>	式	1	1	1						
設計・整備工事	式			1			500m			
<実 績>	m	_	_							
27年度成果・課題	護岸の修繕を	と県が行った。								
28年度成果・課題	名鉄との事育	名鉄との事前協議を行った。								
29年度成果・課題	散策路整備は 行区間の確保	二伴い、交差で Rが必要となる	する名鉄名古 る為、防護網	屋本線鉄道橋 設置工事を行	梁下を通行さ った。	させるにあたり	の、安全な歩			

〇自然とふれあう活動の啓発・支援

【生物多様性保全事業】再掲P. 20 【環境学習推進事業】再掲P. 52

環境目標⑩ 豊川らしさを保ち、育もう 〈取組23 歴史的遺産の保存と活用〉

〇歴史的遺産の保存と活用

【旅籠大橋屋保存整備事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 1	0-4-2-076		全体実施期間 平成27年度~平成30年度					
事業の概要	市指定文化則	す「旅籠大橋」	量」の活用の	ための保存整	備				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
建物寄付採納	式	1					_		
<実 績>	m²	249. 7							
用地取得	式	1					—		
<実 績>	m²	621. 6							
保存整備設計	式	式 - 1							
<実 績>	式		1						
保存整備工事	式			1	1		_		
<実 績>	式			1					
27年度成果・課題	市指定文化則	才「旅籠大橋」	屋」建物寄付	を受け、用地	取得を行った				
28年度成果・課題	旅籠大橋屋倪	旅籠大橋屋保存整備工事の実施設計を行った。							
29年度成果・課題	旅籠大橋屋係 める必要があ		こ着手した。	ガイドボラン	ティアも含め	かた利活用策の	の具体化を進		

【三河国分寺跡土地買上事業】

教育委員会生涯学習課

				71177117						
予算科目	一般会計 10	0-4-2-030		全体実	施期間	昭和60年度~	沼和60年度~平成30年度			
事業の概要	三河国分寺跡	下文化財保護用	月地の土地買_	上事業						
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
用地取得	m²	869	215	1, 127	291		_			
<実 績>	m²	887. 9	252. 7	_						
27年度成果・課題	史跡指定地内	史跡指定地内の2筆の土地買上と移転補償を行った。								
28年度成果・課題	史跡指定地内	9の1筆の土地	買上と移転補	i償を行った。						
29年度成果・課題	地権者との調 跡公園化に向	整により予定 けた事業の具	三事業を先送 具体化が課題。	りした。公有	化完了の時期	朝が近づいて	きており、史			

【御油松並木保存整備事業】再掲P. 20 【御油松並木景観整備事業】再掲P. 20

○歴史的遺産の保護の啓発・支援

【文化財保護啓発事業】

教育委員会生涯学習課

【人儿別休丧冶光尹未】						秋日安只了	3.工任于自味	
予算科目	一般会計10-	一般会計10-4-2-080 全体実施期間 平成18年度~						
事業の概要	意識啓発を目	的とした各種	重事業の実施					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
ふるさと再発見講座	口	4	4	4	4	4	—	
<実 績>	口	4	4	3				
ボランティア養成講座	口	_	1	_		1	—	
<実 績>	П	_	1	_				
天平の里資料館自主事業	П	12	12	12	12	12	_	
<実 績>	П	13	14	15				
27年度成果・課題	内容の充実を	2図った。						
28年度成果·課題	内容の充実を	内容の充実を図った。						
29年度成果・課題	例年並みの事 なっている。	耳業を実施した	上(再発見講座	座3回:延べ7	7人)。実施詞	構座の講師確	保が課題と	

教育委員会生涯学習課

	1/ H_NI 1//C1	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)								
予算科目	一般会計10-4	4-2-077		全体実施期間一						
事業の概要	豊川市平和公	豊川市平和公園(仮称)内の交流施設及び残存遺構にかかる建設及び整備								
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
実施計画	式		1							
<実 績>	式		1							
建設保存整備工事	式			1						
<実 績>	式		_	1						
ボランティアガイドの養成	式		_	1			_			
<実 績>	人			63						
27年度成果・課題	公園工事の実	実施設計及び	交流施設の基	本設計を公園	緑地課予算に	こて実施した。				
28年度成果・課題	交流施設・残	交流施設・残存遺構保存整備工事の実施設計を行った。								
29年度成果·課題		を流館及び残る 長成講座を実施	字遺構保存整 施した。	備工事を完了	した。平和公	*園の供用開始	治に向け、ボ			

○伝統文化の継承への支援 【伝統芸能支援事業】

教育委員会生涯学習課

【伝机云肥又抜争来】						教月安貝 2	<u> </u>	
予算科目	一般会計10-4	4-2-100		全体実施期間		平成20年度~		
事業の概要	地域の伝統芸	に能・伝統文(化の保存・継	承及び普及・	啓発			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
伝統芸能支援事業	式	1	1	1	1	1	_	
<実績>	旦	1	1	1				
27年度成果・課題	「赤坂の舞台 れた。	「赤坂の舞台伝統芸能公演」を実施し、地域に伝わる伝統芸能や技術の保存・継承が図られた。						
28年度成果・課題	「赤坂の舞台 れた。	3伝統芸能公治	寅」を実施し	、地域に伝わ	る伝統芸能や	や技術の保存	・継承が図ら	
29年度成果・課題	「赤坂の舞台 援が必要であ		寅」を実施し	た。伝統芸能	・文化の保存	字・継承には、	継続した支	

【無形民俗文化財伝承支援事業】

教育委員会生涯学習課

【無形民俗又化則伝承】	义佞争耒】			教育安貝云生涯子首硃						
予算科目	一般会計10-4	4-2		全体実施期間		平成29年度~				
事業の概要	地域の伝統総	也域の伝統継承事業への補助金								
計画事業量	単位	単位 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 全体								
補助金交付額	千円	_		1,000	1,000	1,000	_			
<実 績>	千円									
27年度成果・課題	補助金の制度	補助金の制度設計を検討した。								
28年度成果・課題	補助金交付要	浦助金交付要綱の改定を行い、地域の伝統継承事業への補助金制度を新たに設けた。								
29年度成果·課題	牛久保の若葉	英条上若組・ ⁻	下中組の大山	車横幕新調事	業に補助を実	医施した。				

〇文化施設の充実

 〇文化活動の支援

 【豊川文化協会事業への支援事業】

市民部文化振興課

<u> </u>						11:7 4	11.2 4 1 1 200 4 2 4 10 14		
予算科目	一般会計 2-1-21-020 全体実施期間 —								
事業の概要	事業実施のた	こめの補助金							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
補助金交付額	千円	18, 136	18, 341	18, 341	18, 341	18, 341	_		
<実 績>	千円	16, 977	18, 162	18, 329					
		件費補助12,854千円、事業費補助3,923千円(芸術祭、自主文化事業、講座等の開)、事務所移転経費補助200千円。課題は、組織強化、自主事業の充実である。							
28年度成果・課題		.件費補助14,452千円、事業費補助3,710千円(芸術祭、自主文化事業、講座等の開 ・)。課題は、組織強化、自主事業の充実である。							
29年度成果・課題	人件費補助14 催)。課題に						等の開		

- <取組24 良好な景観の形成>
- 〇都市景観の形成
- ○景観形成に関する啓発
- 〇昔ながらの景観の保全
- <取組11 農地の保全>再掲P.23

〇環境の美化

【放置自転車対策推進事業】

市民部人権交通防犯課

【									
予算科目	一般会計 2-	-1-13-060		全体実	施期間	平成23年度~	平成23年度~		
事業の概要	放置自転車監	放置自転車監視パトロール及び撤去・移動 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7							
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
放置自転車撤去台数	_	758台	750台	740台	730台	720台	710台		
<実 績>	_	_	705台	662台	526台				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
監視パトロール 及び撤去・移動	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	日	120	120	120			_		
27年度成果・課題	収した。放置		看板なども併			、120日で70 5車が放置され			
28年度成果・課題		28年度も、監視パトロールを実施し、延べ120日間で662台(自転車駐車場内での撤去を 含む)の自転車を撤去回収した。今後も、放置を防止する看板等の設置や啓発を行う必要 がある。							
29年度成果・課題						転車を撤去回る。 や啓発を行っ			

【資源持ち去り及びポイ捨て防止事業】再掲P.36

【散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」事業】再掲P.37

【アダプトプログラム事業】

建設部道路維持課

【							印/巨/哈/亚/丁林		
予算科目		一般会計 8	-1-1-110		全体実施期間 平成20年			~	
事業の概要		道路、河川、	公園など公式	は施設の清掃	・美化活動を	行うボランラ	・ィア制度の扌		
計画事業量		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
アダプトプロ 登録団体数	グラム	団体	130	140	150	160	170	_	
<実	績>	団体	団体 134 140 144						
27年度成身	果・課題	平成27年度に 積物への対応			きへの申込みだ	が継続してい	る。一方で、	清掃後の集	
28年度成身	果・課題		平成28年度は140団体となり、当該事業への申込みが継続している。一方で、清掃後の廃棄物への対応が課題である。						
29年度成身	果・課題	参加団体が増れなく、その					う支援が一律で	では対応しき	

【資源持ち去り及びポイ捨て防止事業】再掲P.36

環境目標① みんなで考え、行動しよう 〈取組25 環境教育・環境学習の推進〉

○環境教育施設・環境学習施設の活用

【赤塚山公園管理運営事業】

建設部公園緑地課

【小杨田五图日生连首5	# * .	た】							
予算科目	一般会計 8	-5-6-010		全体実施期間一					
事業の概要	指定管理制度	Eを活用し、 島	豊川の身近な	自然や生態系	を学習する講	軽等を実施			
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
管理運営委託	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1					
27年度成果·課題	平成27年度に	は講座等を929	回実施し、の)べ52, 359人だ	が参加した。				
28年度成果・課題	平成28年度に	は講座等を1,1	71回実施し、	のべ67,849)	人が参加した。)			
29年度成果·課題	平成29年度に	は講座等を1, 2	56回実施し、	のべ70,804)	人が参加した。)			

○環境教育施設・環境学習の機会の充実

【環境学習推進事業】

環境部環境課

【現現子百推進事業】			-				成別界児所		
予算科目	一般会計 4			全体実施期間一					
事業の概要			木保全等をテ	ーマにした講	座の実施				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
環境講座の年間参加者数 (環境課実施分のみ)	679人	1,211人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人		
<実 績>	_		1,215人	1,157人	1,116人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
子ども環境学習体験講座	口	3	3	_	_	3	_		
<実 績>	口	3	3	3			_		
酸性雨学習会	口	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	口	1	1	1					
里山でキノコの 菌打ちをしよう	回	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	口	1	1	1			_		
環境保全イベント	口	_	1	_			_		
<実 績>	口		1	_			_		
水生生物調査支援	口	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	口	1	1	1			_		
27年度成果・課題	ラブ696人・ エコクッキン 山保全リータ	小学校106人) ⁄ グ(16人)、 ブーフォロー)	、水生生物 エコドライ	調査支援(85 ブ講習会(10 33人)、里山	5人)、里山の 3人)、エコ: でキノコの菌	6人)、出前語 自然環境調査 キャンドル(語打ちをしよう	至(33人)、 26人)、里		
28年度成果・課題	ラブ530人・ エコクッキン 保全リーダー 境フェア(1	参加者の内訳:子ども環境学習講座(61人)、酸性雨学習会(18人)、出前講座(児童クラブ530人・小学校101人)、水生生物調査支援(95人)、里山の自然環境調査(66人)、エコクッキング(15人)、エコドライブ講習会(55人)、エコキャンドル(18人)、里山保全リーダー養成講座(172人)、里山でキノコの菌打ちをしよう(26人)、とよかわ環境フェア(1,200人・実績に含まない)。問題提起の意味も含め、継続的に講座を実施する必要がある。							
29年度成果・課題	ラブ627人・ エコクッキン 保全リーダー	小学校62人) ⁄ グ(21人)、 - フォローア)	、水生生物調 エコドライン ソプ講座(37)	閉査支援(88) ブ講習会(54 人)、里山で	人)、里山の !人)、エコキ !キノコの菌打	7人)、出前請 自然環境調査 テャンドル(1년 「ちをしよう ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	(74人)、 6人)、里山 (30人)。今		

【ごみ副読本作成・配布事業】

環境部清掃事業課

	D 7 7 1	シベジロト						
予算科目	一般会計 4	-2-1-020		全体実	施期間	平成5年度~		
事業の概要	ごみ副読本	「地球にやさし	しいくらし」	の作成・配布				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
ごみ副読本作成・配布	部	1,950	1, 950	1, 950	1, 950	1, 950	_	
<実績>	部	1,950	1,950	1, 950				
27年度成果・課題		小学4年生の社会科の教材として、ごみの発生量、分別、処理方法などを説明した副読本 を市内の小学校へ配布した。						
28年度成果・課題	小学4年生の を市内の小学			みの発生量、	分別、処理力	万法などを説明	月した副読本	
29年度成果・課題	を育むため及 すきっかけと	でごみの減量 なるように、	量化・資源化小学4年生	関心や理解を について興味 の社会科の教 学校へ配布し	や関心を持っ 材として、こ	っていただき、	行動を起こ	

【子どもエコポイント事業】

環境部環境課

【丁ともエコかイント事業】									
予算科目	一般会計 4-	-1-10-060		全体実	実施期間 平成23年度~				
事業の概要	環境関係講座	逐参加者にポ/	イントを付与	し、積極的な	、積極的な講座参加を促す。				
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
エコポイント参加者数	_	735人	800人	800人	800人	800人	800人		
<実 績>		_	874人	811人	973人				
ジュニアエコリーダー認 定者数	_	6人	10人	10人	10人	10人	10人		
<実 績>	_	_	6人	7人	12人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
エコポイント付与数	ポイント	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	_		
<実 績>	ポイント	1,081	953	1, 147			_		
27年度成果・課題	小学生を対象に「こどもエコポイント制度」を実施した(1081ポイント付与)。5ポイントためると環境グッズと交換(30人)し、8ポイントでジュニアエコリーダーに認定(6人)し、環境講座への積極的参加を促した。今後も、清掃事業課や赤塚山公園と協力しながら対象事業を増やし、多くの子どもが参加できる仕組みをつくる必要がある。								
28年度成果・課題	トためると環 人) し、環境	環境グッズとで 記講座への積板	交換(28人) 亟的参加を促	し、8ポイン した。今後も	トでジュニア 、清掃事業調	イント付与) 'エコリーダー や赤塚山公園 る必要がある	- に認定(7 園と協力しな		
29年度成果・課題	トためると環	環境グッズとご	交換 (34人)	し、8ポイン	トでジュニア	パイント付与) パエコリーダー 近に表彰状(2	-に認定(12		

【クールアース・デーの普及啓発事業】再掲P.4 【身近な自然環境調査事業】再掲P.21

〇ライフスタイル提案型の環境啓発

【うちエコ診断事業】再掲P.4

【ホームエネルキ゛ーマネシ゛メントシステム(HEMS)導入費補助】再掲P.4

【住宅用太陽光発電システム設置費補助】再掲P.6

【家庭用蓄電池及び燃料電池設置費補助】再掲P.7

【クリーンエネルギー自動車購入費補助】再掲P.11

<取組26 環境情報の収集と提供>

〇環境情報の収集と提供 【市ホームページ・広報掲載】

環境部環境課

【川か お、 ン / 海ャ海峡】										
予算科目	一般会計			全体実施期間一						
事業の概要	市ホームページや広報による環境情報の提供									
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
市ホームページ環境部 局アクセス数	5,030件	8,573件	8,800件	9,100件	9,400件	9,700件	10,000件			
<実 績>	_	_	5,928件	7,094件	8,743件					
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
市ホームページ・ 広報誌掲載	式	1	1	1	1	1	_			
<実 績>	式	1	1	1			_			
27年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・里山の身近な生き物を探そう等)の実績報告や環境基本計画、講座等の募集情報などを市のホームページに掲載した。また、広報紙でも、緑のカーテンコンテストや狂犬病の予防接種、講座等の募集情報を掲載し、情報提供や意識啓発に努めた。今後も広く情報発信するために市ホームページを活用する必要がある。※算出期間(4月-3月)環境部 823件、環境課 2,310件、清掃事業課 2,795件									
28年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・里山の身近な生き物を探そう等)の実績報告や環境基本計画、講座等の募集情報などを市のホームページに掲載した。また、広報紙でも、緑のカーテンコンテストや狂犬病の予防接種、講座等の募集情報を掲載し、情報提供や意識啓発に努めた。今後も広く情報発信するために市ホームページを活用する必要がある。 ※算出期間(4月-3月)環境部 803件、環境課 2,994件、清掃事業課 3,297件									
29年度成果・課題	境基本計画、 緑のカーテン 識啓発に努め	講座等の募り イコンテストな た。今後も	環境体験講座 集情報などを や狂犬病の予 広く情報発信 境部 865件	市のホームペ 防接種、講座 するために市	ージに掲載し 等の募集情報 ホームペーシ	た。また、D な掲載し、M ジを活用する。	な報紙でも、 青報提供や意			

【「豊川市の環境」及び「豊川市の清掃事業」の作成配布】

環境部環境課 · 清掃事業課

【「豊川巾の塚現」及(ハー 意川 巾 のれ	肎畑争来」の	玛	[、] 現場現場は 1 一年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1						
予算科目	一般会計		施期間	_						
事業の概要	豊川市の環境及びごみ排出量、資源化量などについての事業概要の公表									
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画			
「豊川市の環境」 作成・配布	式	1	1	1	1	1	_			
<実 績>	部	55	55	55						
「豊川市の清掃事業」の 作成・配布	式	1	1	1	1	1	_			
<実 績>	部	46	22	22			_			
27年度成果・課題	した。また、	豊川の環境=冊子版を豊川市議会各会派、愛知県地域環境保全委員、中央図書館等に配布 した。また、PDF版を市ホームページ上に掲載したほか、市内小中学校に送付した。 豊川市の清掃事業=豊川市議会各会派、愛知県地域環境保全委員及び関係各所に配布し た。								
28年度成果・課題	豊川の環境=冊子版を豊川市議会各会派、愛知県地域環境保全委員、中央図書館等に配布 した。また、PDF版を市ホームページ上に掲載した。 豊川市の清掃事業=豊川市議会各会派、愛知県地域環境保全委員及び関係各所に配布し た。									
29年度成果・課題	県地域環境係ページ上に携 ホームペーシ	豊川市の清排 R全委員、中 引載した。 ジでは、豊川の こ、ホームペー	央図書館及び の環境は238回	関係各所等に]、豊川市の滑	配布した。ま 青掃事業は851	た、PDF片	反を市ホーム			

〇新たな環境問題の情報収集と提供

<取組27 自発的活動の促進>

〇人と人とのネットワークの推進

【東三河生態系ネットワーク協議会参加】

環境部環境課

【米二四工窓がイブークーク 伽賊石参加】									
予算科目	一般会計			全体実施期間 平成22年度~					
事業の概要	豊橋、豊川、 系ネットワー	豊橋、豊川、蒲郡の地域で生物多様性の保全に関係する団体が集まり組織する東三河生態 系ネットワーク協議会への参加							
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
協議会参加	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
27年度成果・課題	協議会へ参加し、バスツアーやフォーラムの運営に参加した。今後も、市民と協議会のパイプ役として、情報発信などに協力する必要がある。								
28年度成果・課題				ラムの運営に る必要がある		後も、市民と	: 協議会のパ		
29年度成果・課題	協議会へ参加 加団体をはじ					後も、市民及	及び協議会参		

【里山保全リーダー養成事業】再掲P.15 【アダプトプログラム事業】再掲P.51 【子どもエコポイント事業】再掲P.53

〇NPO・ボランティア活動の支援

【市民活動推進事業】

市民部市民協働国際課

【印氏伯勒推進爭果】						UITCHUIT	乙姗鲥当你味		
予算科目	一般会計 2-	-1-23-020		全体実	施期間	平成14年度~			
事業の概要	市民活動推進	重のための支援	受						
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
ボランティア・市民活 動登録団体数	278団体	373団体	358団体	360団体	365団体	368団体	370団体		
<実 績>	_	_	358団体	358団体	343団体				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
市民協働推進事業補助	団体	6	6	6	6	6	_		
<実 績>	団体	6	6	8			_		
各種講座・研修会	口	5	5	5	5	5	_		
<実 績>	口	3	8	3			_		
NPO法人運営支援事業 補助	団体	4	4	6	6	6	_		
<実 績>	団体	2	1	6			_		
市民活動総合補償保険	件	70	70	70	70	70	_		
<実 績>	件	38	34	37			_		
27年度成果・課題	ボランティア	ボランティア・市民活動団体等への各種支援策を展開し、市民活動の推進を図った。							
28年度成果・課題	ボランティア	・市民活動団	団体等への各種	重支援策を展	開し、市民活	舌動の推進を図	図った。		
29年度成果·課題		・市民活動団 動団体構成員				f動の推進を図 こいる。	引った。課題		

【こまがわかノンノイノ・川氏伯勁ピング・事業】									
予算科目	一般会計 2-	-1-23-025		全体実	産施期間 平成14年度~				
事業の概要	とよかわボランティア・市民活動センターの管理運営								
目標指標	過去値 (H21)	現状値 (H26)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
利用延べ人数	_	11,882人	12,476人	13,100人	13,755人	14,442人	15,164人		
<実 績>	_		13,077人	13,662人	15,057人				
計画事業量	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
事業委託	式	1	1	1	1	1	_		
<実 績>	式	1	1	1			_		
相談件数	件	1, 173	1, 231	1, 292	1, 356	1, 423	_		
<実 績>	件	1, 197	993	786			_		
27年度成果・課題	センター管理運営を指定管理者に委託し、ボランティア・市民活動団体に対する情報収 集・提供、人材育成、相談等に関する事業を実施し、多くの登録団体の活動を支援した。								
28年度成果・課題	センター管理運営を指定管理者に委託し、ボランティア・市民活動団体に対する情報収 集・提供、人材育成、相談等に関する事業を実施し、多くの登録団体の活動を支援した。								
29年度成果・課題	集・提供、人	、材育成、相談		ティア・市民	活動団体の考	:行ったことで きえや要望に※			

〇環境に配慮した自主的な取組

【豊川市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】再揭P.2

〇環境に配慮した事業活動の啓発